

令和7年度事業報告

令和7年度 重点事業報告

1. 看護職確保対策の強化

実施結果及び考察

1) 地域全体で看護職員を育成し地域から流出を防ぐための取り組み

①地域全体で看護職員を育成し地域からの流出を防ぐための取り組み

- ・地域で人材の確保・定着を図るしくみづくりを構築するため、東濃圏域をモデル地域に選定し、その地域の現状と課題を把握するため、様々な規模や機能（医療機関・在宅・介護及び教育）の12施設の看護職代表者に対して、個別のヒアリングを実施した。
- ・一部施設では、離職防止策として、多様な働き方の提案や子育てナースのための就業環境の整備を、新たな人材確保に向けて、若手看護職によるリクルート活動や再就職時の処遇の見直し等、積極的な取り組みを行っていた。
- ・全体的には、深刻化する人材不足の対応に苦慮している施設が多く、効果的な取り組み例や他施設との情報交換を求めている。また、複数の施設が人材育成やキャリア形成の支援を課題にあげており、施設を超えた交流や質向上のための検討を求める意見も多かった。
- ・ヒアリングにより、各施設の共通の課題は、「人材不足の解消」「人材育成」「看護職の交流・協働」であることが明らかになった。
- ・人材の確保・育成の課題解決は、施設ごとの取り組みでは成果が得にくい現状にあり、他施設と連携して取り組む必要があると考える施設は多い。職場環境の整備や処遇改善に関する好事例の共有と自施設での実践、他県の取り組み成果を参考にした施設間の人材の交流等を提案し、複数施設による取り組みを促すことで、地域全体で人材の流出を防ぐ体制づくりが進むと考える。

2) 訪問看護事業所における看護職確保の推進と職場での定着を支援する取り組み

①新卒看護師確保に向けた支援体制づくり

- ・訪問看護体験型研修（1日）は、看護学生（13名）が訪問看護の見学を行い、看護教員（2名）は、午前に行き訪問（2件程度）を体験し午後には意見交換を行った。意見交換では、「療養者の生活や人生に触れることで、訪問看護の役割を実感することができた」「実習指導や授業構成など、今後の教育活動に活かすことができる」などの意見があった。訪問看護体験型研修は、訪問看護の理解を深めるとともに、看護教育と訪問看護の連携を強化する取り組みであるとする。
- ・新卒訪問看護師との交流会（8月18日）には、看護学生4名が参加した。参加者からは、「訪問看護の働き方を具体的にイメージすることができた」「働き方やキャリアプラン、ライフプランを考える機会となった」などの感想を得た。交流会の開催は、学生が訪問看護の働き方を具体的に理解し、将来の働き方やキャリアを考えるうえで有意義であるとする。

②新任訪問看護師の定着に向けた支援体制づくり

- ・新任訪問看護師向け研修会は募集直後に定員に達し、学習機会への高いニーズが確認された。また、「講義と演習を組み合わせた内容は実践に役立つ」「仲間づくりができる」等の感想を得た。新任訪問看護師の離職防止、不安緩和のためにも必要な研修であるとする。
- ・指導者研修は、指導者が判断に迷いやすい場面を題材に指導方法や組織的支援を考える機会

を提供した。第1回(20名)・2回(定員近く)と多くの参加があり、ニーズの高さがわかった。訪問看護の現場では、新任訪問看護師の早期離職の要因として、指導体制や指導者に相談できる環境の不足が指摘されている。指導者の資質を高めることは、新任訪問看護師が安心して学べる環境づくりが離職防止にもつながると考えられる。

③小規模事業所における人材確保および定着等に関する現状把握

- ・中濃圏域3地区(可茂・郡上・関)の訪問看護ステーション管理者を集め、人材確保・育成・定着等に関する意見交換を行った。各地区の課題は、「可茂:人材が定着しにくい・育成負担が大きい・勤務調整が難しい」、「郡上:人材確保が難しい・育成を担う人材に限られる・少人数で負担が偏りやすい」、「関:訪問看護を選ぶ若手が少ない・育成やフォローに時間を要する・若手が夜勤収入を求め離れやすい」であった。また、事業所規模による事業所体制や、地理的条件、生活環境に関する背景や影響により課題が異なった。今後は、事業所間の情報共有を進めるとともに、地域特性に応じた支援策の検討・人材確保と定着に向けた環境整備を図る必要がある。

3) ナースセンターの役割の強化

①プラチナナースの確保と就業促進

- ・プラチナナース確保と就業促進に関するアンケートを県内93病院の看護管理者、50代~定年を迎える看護師、定年後も就業している看護師を対象に実施した。(回答者数:管理者57人、50代~定年504人、定年後150人)
結果は施設へ報告し、プラチナナース活用の参考とするよう促した。
- ・今回の調査では、常勤・非常勤という勤務形態での採用・就業だけでなく、スポットワーク(短時間就労)の可否や得意な分野、看護機能の範囲を限る等の雇用についても意見を求めた。
- ・看護管理者は、患者の日常生活行動への支援や職員が不足する部署、機能への補充を求めているが、プラチナナースからは、得意な分野や経験を活かして働きたいとの回答が多く、求人と求職、双方のニーズには大きな乖離があった。
- ・プラチナナースセミナーと交流会を10月1日に、求人施設向けプラチナナース活躍促進セミナーを10月21日に、また、プラチナナースと求人施設が直接相談できるキャリアチェンジ就職フェアを1月29日に開催した。就職フェアによって、2名の就職につながった。また、求人施設向けのセミナーでは、具体的な実践事例の紹介により、今後の雇用促進に活用したいと回答した施設管理者も多かった。

②看護補助者の働き方の周知と就業促進

- ・ハローワークと協力して「医療現場でのお仕事セミナー」を3地域で延べ5回開催した。(岐阜9/19 11/21 関7/22 12/15 多治見9/25) 受講者は89名であった。
- ・県内12のタウン誌(5月号)に「看護補助者として働いてみませんか」と題した広告を載せ、5月1日~実施するオンデマンド研修の受講生を募集した。(申込者は37人) また、看護の日のイベント会場やサマーフェスティバル、サテライトでの就業相談会場でものぼり旗やチラシを設置し、周知と募集を行った。各会場数名ではあったが、足を止め興味深く話を聞く者があり、お仕事セミナー・オンデマンド研修・就業促進研修をあわせて、10名が看護補助者として就職した。

③地域に応じた看護職確保の取り組み支援

- ・中濃圏域ワーキング会議を2回(10/2・1/27)開催した。前年度、地区ごとに検討した課題についての取り組み報告があった。関・可茂・郡上3つの地区でそれぞれに状況は異なるが、合同就職説明会や多職種との連携、スポットワークの導入、高校での看護の仕事の説明や奨学金支援制度の案内など積極的に取り組んでいた。

- ・今年度、中央ナースセンターのモデル事業として、ハローワークと連携し、ハローワークで準備したタブレットを利用したオンラインによる就業相談を7月18日から開始した。タブレット利用の相談はなかったが、自宅等からのオンライン相談は、2月までの間に9件あった。

④「看護の心」普及事業の拡大

- ・「看護の日」のイベントを県下全域（5圏域）で企画し、岐阜（5月17日）・飛騨（7月6日）・西濃（7月26日）で開催、東濃（9月20日）・中濃（10月18日）開催した。参加者は、5圏域で延べ1,818人だった。また、今年度の新たな試みとして、地域の保健師の協力を得て「看護協会まちの保健室」を各会場で開催、塩分チェックシートを利用した減塩対策指導や健康相談などを行った。地域住民の関心は高く、555名が参加した。

今後の課題

○地域全体で看護職員を育成し地域から流出を防ぐための取り組み

- ・今後は、施設単位で取り組んできた看護人材の確保・育成の課題を地域全体の課題として共有し、施設を超えた積極的な意見交換や看護職員の交流を通して、複数施設で同じ目標を定め、課題解決のための具体的な方策に取り組むことが必要である。
- ・今回のヒアリング結果をもとに、「職場環境の整備・処遇改善」「人材育成」「看護職の交流」についての取り組みを提案し、地域全体での人材確保や看護職のネットワークづくり、質向上に向けた活動を促す。

○訪問看護事業所における看護職確保の推進と職場での定着を支援する取り組み

- ・看護学生向け研修及び交流会は、訪問看護の理解促進に有効であり今後も継続する。看護教員の参加が少ないため、訪問看護総合支援センターの活動理解を促し、教育機関との連携強化ができる方策について検討する。また、教員が参加しやすい内容・方法等を検討する。
- ・新任訪問看護師向け研修・指導者研修ともに、ニーズが高く効果が期待できるため開催回数を増やすなど拡充を検討する。
- ・中濃圏域の3地区意見交換で明らかになった課題や支援ニーズについて整理・分析し、地域特性に応じた支援の方向性を検討する。

○ナースセンターの役割強化

- ・今後、少子高齢化が進み、人口減少に伴い就業人口が減少するため、プラチナナースの効果的な活用や多様な働き方の提案による雇用の促進が必要となる。求人施設に対して、プラチナナースのニーズに合った雇用形態の検討やスポットワークの導入を見据えた多様な働き方の提案を行い、看護職員確保の新たなシステムづくりを進める必要がある。
- ・ハローワークとも連携し、ナースセンター活用の周知拡大に努め、求職者（登録者）を増やす。求人施設との効果的なマッチングを行い、就業の促進、看護人材の確保を図る。

2. 離職防止と職務継続への支援

実施結果及び考察

1) 多様な働き方の推進を支援する取り組み

- ・前年度の研修を受講した看護管理者に、自施設での勤務表作成時に工夫していること等について調査を行い、参加者 35 人中 24 人から回答を得た（回答率 68.6%）。全員が公平性の確保や業務量に応じた人員配置の工夫をしており、55%は何らかの改善ができていた。
- ・フォローアップ研修として、1 月 13 日に「看護職が働き続けるための多様な働き方とやりがいのある職場づくり」をテーマに、先進的な取り組みを行っている病院の看護部長を講師に迎え研修を開催した（参加者 28 人）。研修後のアンケートでは 96%が「よかった・だいたいよかった」と回答し、「短時間勤務の見直し」や「夏休みに夜勤専従を取り入れる」など今後に活かしたいとの意見があった。勤務体制の整備や子育て期の勤務変更等、多様な働き方の導入や、キャリア支援ややりがいを生む職場づくり等、各施設で何ができるのかを考える機会を提供できた。引き続き、具体的な多様な働き方を提案し、働き続けられる職場環境づくりを支援する必要がある。

2) 処遇改善を支援する取り組み

- ・今年度は、処遇の中でも休暇取得に焦点をあて、12 月 22 日に「働く意欲を高める休暇の作り方」をテーマに、社会保険労務士と看護管理者を講師に迎え、研修を開催した（参加者 31 人）。研修後のアンケートでは、全員が「よかった・だいたいよかった」と回答し、「計画的な休暇取得は、個々の就業の満足度を高め、退職時の大量取得の防止にもつながる」「休暇取得を促進させるヒントが得られた」等の意見があった。また、看護管理者間で意見交換し、雇用者にも就業者にも好ましい休暇の作り方や考え方について、情報共有することができた。

今後の課題

○多様な働き方の推進を支援する取り組み

○処遇改善を支援する取り組み

- ・看護人材の不足改善のためには、看護職が生き生きと働き続けられる職場づくりが必要であり、短時間就労や兼業等、多様な働き方を可能にする新たな雇用体制の導入や賃金改善やキャリア形成の支援等、就業満足度を高める取り組みが求められる。ライフスタイルの変化とともに看護職のニーズも多様化しており、個別のニーズに対応した雇用を実現するためには、施設ごとの取り組みでは限界がある。離職防止や定着促進を地域全体の課題として共有し、多様な働き方の導入や処遇改善、人材育成、交流の支援に取り組む必要がある。
- ・令和 8 年度からは、重点 1 に内容を集約し、より具体的な取り組みを支援し、好事例を提示することで、働きやすい環境の整備を促す。

3. 生涯学習支援体制に基づく生涯学習の推進

実施結果及び考察

1) 研修計画および生涯学習支援体制の枠組みの活用に向けた支援

- ・育児休暇中の看護職を対象とした交流会（9月24日）を開催し、復職に対する不安の軽減を目的として意見交換を行った。
- ・交流会では、現場を離れていることによる知識・技術の低下への不安、復職先のシステム変更への戸惑い、育児と両立しながらの休日出勤や夜勤への心配、家族の協力体制に関する悩みなど、率直な悩みが共有された。協会助産師も同席し、子育てと仕事の気持ちの切り替え方について助言を行った。
- ・研修後アンケートでは、「同じ立場の人の話が聞けて良かった」「背景は違っても、子育ても看護も頑張りたい気持ちは共通していると分かり前向きになれた」「育児休暇中の学習方法を知ることができた」「同僚や家族に頼ることも必要だと感じた」などの意見があった。交流会は目的に沿った成果を上げ有効であったと考える。一方で、復職後にも不安が生じやすいとの声があることから、今後は対象者の拡大や継続的な支援の検討が必要である。
- ・研修計画と生涯学習支援体制枠組みについては、計画の配布や説明動画の掲載を通して継続的な周知を行った。今後は、より多くの看護職が枠組みを活用できるよう、情報提供の工夫や必要な情報にたどり着きやすい体制の整備を進めていくことが求められる。

2) 小規模病院・施設等の生涯学習支援体制づくりの支援

- ・12月24日には、「組織で行う生涯学習支援を学ぼう〔JNA オンデマンド研修〕」を開催し、42名が参加した。うち病院39名、診療所1名、訪問看護ステーション1名、看護教育機関1名であった。小規模病院は3施設、中規模病院は15施設、大規模病院は4施設、職位内訳は、看護管理者8名、看護師長22名、看護主任10名、スタッフ2名であった。アンケート回収率90.5%（38名）の結果では、研修内容が「よかった」・「だいたいよかった」97%、目的達成「できた」・「だいたいできた」95%、実践活用は「できる」・「だいたいできる」100%と高い評価が得られた。また、「生涯学習支援についての理解が深まった」「支援対策を整理した状態で研修に臨めた」といった回答も得た。
- ・一方で、具体的施策への落とし込みの難しさや、類似規模の施設との意見交換の機会を求める声もあり、研修内容のさらなる工夫が必要である。また、参加者からはポートフォリオやキャリアデザインシートの活用、学習環境の整備など、実践につながる支援策が挙げられ、研修が自施設の課題整理と改善の方向性を考える機会となったと考えられる。

3) 地域全体で生涯学習を支援する体制づくり

- ・看護職を雇用する組織代表者との意見交換会（12月8日）を開催し、県内6支部の病院・訪問看護ステーション・介護施設・行政・看護教育機関の代表10名が参加した。
- ・いずれの組織においても、人材不足が支援の妨げとなっていることが明らかになった。一方で、教育人材の派遣や他施設との協力を望む前向きな意見もあり、組織を超えた連携の可能性が示された。看護教育機関からは、キャリア形成をカリキュラムに組み込む取り組みが報告され、生涯学習を支える基盤づくりが進んでいることが確認された。
- ・地域全体で生涯学習を支援するためには、各組織が単独で取り組むだけでなく、看護協会と連携しながら支援体制を構築していく必要があると再認識された。

今後の課題

○地域全体で生涯学習を支援する体制づくり

- ・今後も、看護職のライフコースに応じた研修や交流会、研修を継続して実施する必要がある。その際には、対象者が参加しやすいよう、周知方法や研修構成の工夫が求められる。
- ・各組織における「生涯学習」の理解には差が生じているため、日本看護協会のガイドラインや支援ツールの紹介、意見交換会参加者を通じた普及促進など、理解を広げる取り組みが必要である。
- ・看護職が主体的に学べる環境を整えるため、看護協会以外の研修情報も含めて幅広く紹介できる体制を整備し、看護協会ホームページに研修情報を集約し、一元的に提供する窓口として充実させていく。

4. 地域における専門性の高い看護師養成・育成・活動支援

実施結果及び考察

1) 特定行為研修修了者やNPコース修了者の地域活動体制づくりの支援

①修了者の活動促進の支援

- ・8月27日にNPコース修了者交流会を開催し、自施設での取り組みや課題、地域での活動の紹介、今後の活動の方向性等、活発な意見交換がなされた。
- ・特定行為研修・NPコース修了者の地区別交流会を中濃支部9月25日、東濃支部9月27日、西濃支部10月7日、岐阜北支部10月8日、飛騨支部10月17日、岐阜南支部10月27日に開催した。テーマは「特定行為の現状と課題」や「修了者の活動報告」の他、「特定行為における臨床推論」や「ハンズオンセミナー」等の講義・演習を行い、各支部で内容を工夫し開催することができた。
- ・全体の総会・交流会を11月4日に開催し、同日にフォローアップ研修として、医師による講演「特定行為を行う看護師に知ってほしい身体診察とアセスメント」を併せて実施した（参加者45人）。交流会では、積極的な意見交換がなされ、ネットワークづくりも進んだ。

②修了者の活用促進のための支援

- ・1月27日に管理者向け研修会を開催した（参加者20人）。在宅クリニックの医師による講演「特定行為研修修了者の地域での活躍の可能性について」と、病院・高齢者施設・訪問看護ステーションでの特定行為研修修了者の活用事例を共有した。高齢者施設から初めて参加があり、それぞれの立場で意見を交換することができた。

③地域における活動環境づくりに向けた支援

- ・岐阜県医師会の研修会で活動発表を予定したが、今年度は協力が得られなかった。

2) 専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動体制づくりの支援

①認定看護師が各地域で専門性を発揮して活動できる体制づくりの支援

- ・認定看護師が関連分野ごと5つに分かれて交流会を開催した（分野：開催日・参加者）
感染：6/5（21人）、がん：6/20（24人）、慢性期①：7/2（33人）、急性期：7/11（19人）、慢性期②7/29（15人）

共通の課題や地域での活動状況と拡大の方策（好事例）等について活発な意見交換がなされ、自主的なネットワークもつくられた。「活動の実際がわかり参考になった」「他分野との交流や横のつながりが大切」との声があり、交流会後、施設外でも活動する認定看護師が、その分野の認定がない施設からの依頼を受けて講義に出向くという連携につながった例もあった。

- ・地域活動を促進するためには、関連分野が連携し活動できるようなネットワークづくりや専門看護師と認定看護師が連携し協力し合える体制づくりが必要であり、施設や看護管理者の理解の促しや活動の場の情報提供等の支援も必要である。

②専門看護師が認定看護師と連携、協働して活動できる体制づくりの支援

- ・8月7日に専門看護師の交流会を開催した（参加者10人）。組織や地域での活用を促すため、事例検討により専門看護師の役割を可視化し、その内容をもって周知につなげようという提案があり、事例検討会を1月26日に実施し、2月18日の専門・認定看護師の合同交流会（参加者70人）で発表した。参加者からは、「専門看護師の活動を知ることができた」「相談先が増えた」等の意見があり、専門看護師と認定看護師が分野を超えて協働できることを周知す

る機会となった。

- ・合同交流会は、異なる分野の専門看護師と認定看護師が交流することで顔の見える関係をつくる機会となった。また、初めて行政保健師の参加があり、連携・協働の必要性が確認できた。
- ・今後も専門看護師と認定看護師が互いにつながり、他分野の専門性を活かしながら地域で協働し活躍できるネットワークづくりを支援する必要がある。

③認定看護管理者の活動の支援

- ・認定看護管理者の交流会を10月29日に開催した（参加者25人）。「認定看護管理者として今の自分にできること」をテーマに病床規模別にグループワークを実施し、活発な意見交換がなされた。同一規模の施設間での課題や活動を共有し、ネットワークを作るよい機会となった。
- ・今後は認定看護管理者が連携して地域の課題について取り組むための支援が必要である。

今後の課題

○特定行為研修修了者やNPコース修了者の地域活動体制づくりの支援

- ・令和2年度に修了者の意見交換会から開始した本事業は、令和5年度には、県下6地域の代表の意見をもとに看護管理者や医師会等の関係職種への活動報告、活用の周知を行い、令和6年度からは、全体会と6つの支部会で組織する会とし、課題や好事例を共有しつつ、ネットワークづくりや修了者の活用、活動の拡大に向けて代表を中心に主体的な取り組みを進めている。今後は、各会の運営は代表に委ね、施設や関係職種との調整等を協会が支援することで、より自主的な取り組みが継続、拡大するよう促す。

○専門看護師、認定看護師、認定看護管理者の活動体制づくりの支援

- ・専門・認定看護師については、交流会を継続し、他分野の専門性を活かしながら地域で協働して活躍できるネットワークづくりや活動の場等の情報提供等の支援が必要である。
- ・認定看護管理者については、地域の施設間の情報共有や連携を強化し、看護の質向上や共通課題である次世代育成に取り組むための支援が必要である。

5. 災害・健康危機に備えた体制の整備

実施結果及び考察

1) 災害支援ネットワークの整備

- ①ソーシャルネットワークを活用し、協会・施設間・各圏域間のネットワーク体制を構築する
 - ・災害用公式LINEの運用に向けて、LINE公式アカウントを作成した。また、LINE以外の手段として、施設管理者との連絡ツール「災害発生等に関する報告書」を作成したが、運用訓練は実施できなかった。
 - ・9月22日に岐阜県立下呂温泉病院主催の受援訓練に参加し、他施設の災害支援ナースとともに支援内容の確認や連絡ツールとしてLINEの試用を行った。1月16日の災害看護委員会において、訓練担当者より受援訓練の実際について報告を受けた。

2) 災害看護の普及

- ①イベント（看護の日、ねんりんピック等）に参加し、災害の備えに関する啓発活動を行う
 - ・看護の日（岐阜5/17、西濃7/26、中濃10/18、東濃9/2、飛騨7/6）に参加し、災害看護委員会が中心となり、地域住民に向けて災害の備えや対応について情報発信した。
- ②ソーシャルネットワークを活用し、災害の備えに関する情報を県民に発信する
 - ・インスタグラムに7月24日開催の災害看護研修報告、10月28日開催の災害支援ナースフォローアップ研修の報告を掲載した。

3) 岐阜県看護協会のBCP作成

- ①作成した岐阜県看護協会の事業継続計画（BCP）を活用した訓練を行い、その見直し・修正等を行う
 - ・安否確認ツールを導入し、その利用による訓練を行う予定としていたが、安否確認ツールの導入検討に留まり、未導入。したがって訓練およびBCPの見直しも未実施となった。

今後の課題

○災害支援ナース養成の推進とネットワークの整備

- ・県行政との連携による広域災害救急医療情報システム（EMIS）操作の運用訓練を実施し、平時から災害に備える必要がある。
- ・県内の被災状況の把握や災害支援ナースの派遣時支援に必要な情報ツールを整備する。

○災害看護の普及

- ・モデル地域（西濃）で災害訓練を企画、実施し、防災力の強化、平時の備えの整備に努める。
- ・災害訓練（好事例）の報告会を開催し、各地域の施設間で協力して防災力の強化が図られるよう支援する必要がある。

○岐阜県看護協会のBCPの見直し等

- ・安否確認ツール導入前にもメールによる安否確認情報の情報収集を行い、BCPの見直しを行う必要がある。また、安否確認ツール導入後にその活用による情報収集訓練を行う。

令和7年度事業報告

・二重下線は重点政策・重点事業

1 教育等看護の質の向上に関する事業

1- (1) キャリア支援のための継続教育の推進

ア 教育研修プログラム 【研修受講状況報告 P75 参照】

(ア) 令和7年度の研修の運営・評価 (14項目 38研修 一般研修のみ)

受講者数 2,452人 (非会員を含む)

・若手看護職のリーダーシップ教育研修Ⅰ実施 7施設 41人受講

・若手看護職のリーダーシップ教育研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ実践報告会及び東海北陸地区若手看護職のリーダーシップ教育研修Ⅰ実践報告会 (愛知県看護協会主催)
(2月21日・3月7日 岐阜県代表施設 各1施設が発表)

・がん看護実践に強い看護師育成研修 12人受講

(イ) 令和8年度の研修の企画、立案

(ウ) ホームページ・マナブルによる年間研修計画の情報提供

イ 認定看護管理者教育課程

(ア) ファーストレベル教育 (5月7日～7月31日)

受講者 91人 修了者 90人

(イ) セカンドレベルフォローアップ研修 (2月10日)

受講者 39人 修了者 39人

ウ 専門看護師・認定看護師・認定看護管理者の活動体制づくりの支援

(ア) 認定看護師が各地域で専門性を発揮して活動できる体制づくりの支援

・ネットワークづくり、交流会

交流会 (6月5日) 参加者 21人

(6月20日) 参加者 24人

(7月2日) 参加者 33人

(7月11日) 参加者 19人

(7月29日) 参加者 15人

代表者会議 (5月12日) 出席者 6人

(11月12日) 出席者 5人

(3月24日) 出席者 6人

・地域と連携し活動する場の拡大の支援

合同交流会 2月18日

(イ) 専門看護師が認定看護師と連携・協働して活動できる体制づくりの支援

・全体交流会・ネットワークづくり 専門看護師1回 (8月7日) 参加者 10人

・認定看護師との合同研修会・交流会

専門・認定看護師の合同交流会 (2月18日) 参加者 70人

専門・認定看護師の代表者会議 (3月24日) 参加者 6人

(3月30日)参加者1人

専門看護師の事例検討会(1月26日)参加者10人

- ・施設、在宅等活動の場の拡大の支援

(ウ)認定看護管理者の活動の支援

- ・交流会・ネットワークづくり
- ・次世代のスペシャリストの育成

認定看護管理者意見交換会 10月29日 参加者25人

エ 災害看護研修会

- ・災害支援ナース養成研修(日本看護協会委託事業)

第1回【災害編】8月12日 受講者69人

【感染編】9月4日 受講者70人

第2回【災害編】10月10日 受講者64人

【感染編】11月11日 受講者63人

- ・災害支援ナースフォローアップ研修

10月28日 受講者22人

- ・災害看護研修 7月24日 受講者53人

オ 受託研修

(ア)専任教員養成講習会

5月8日～1月30日 9ヵ月(eラーニング視聴期間も含め182日)

受講者14人 修了者14人

- ・講師会議 4回
- ・運営委員会3回
- ・単位認定会議3回

特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会

9月11日～12月25日 分散型9日間

(9月11日～10月26日 eラーニング) 受講者23人 修了者22人

(イ)新人看護職員教育事業

・教育担当者研修 6月13日～9月25日(5日間) 受講者56人 修了者56人

・多施設合同研修 6月3日～2月16日(12日間) 受講者20人 修了者17人

(ウ)看護人材現任者研修

・専任教員 8月4日 受講者20人

8月19日 受講者26人

9月10日 受講者15人

・専任教員・実習指導者編 10月4日 受講者80人

・助産師編 10月30日 受講者16人

11月12日 受講者10人

・准看護師編 10月21日 受講者36人

11月27日 受講者27人

(エ)重症心身障がい児者看護人材育成研修事業

重症心身障がい児者看護人材育成研修 5月13日～2月13日

演習やグループワーク集合研修、座学はオンライン配信講義又は集合研修
計 12 日間実施（臨地実習 1 日を含む） 受講者 34 人 修了者 33 人
重症心身障がい児者看護人材育成研修フォローアップ研修

「摂食・嚥下講習会」 10 月 2 日 受講者 25 人

「重症心身障がい児者に必要な看護ケア講習会 呼吸管理講習会」
10 月 22 日 受講者 26 人

(オ) 看護職員・病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修事業

看護職員認知症対応力向上研修

〔岐阜〕 7 月 7 日・8 日・23 日・2 月 17 日 修了者 52 人

〔中濃〕 7 月 15 日・17 日・8 月 5 日・2 月 20 日 修了者 35 人

病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修

9 月 4 日 受講者 37 人 修了者 36 人

9 月 12 日 受講者 29 人 修了者 29 人

9 月 25 日 受講者 28 人 修了者 28 人

(カ) 地域在宅退院支援担当者研修

10 月 7 日～12 月 10 日 6 日間 受講者 61 人 修了者 60 人

1－(2) 新人看護職員卒後研修の推進

ア 新人教育

・専門職としての第一歩！

6 月 23 日・27 日・7 月 1 日・10 日・18 日 受講者 540 人

・専門職としての第一歩フォローアップ研修

2 月 6 日 受講者 68 人

1－(3) 医療・看護安全対策の推進 【医療・看護安全委員会報告 P150 参照】

ア 医療安全管理者養成研修 12 月 17 日 受講者 38 人 修了者 36 人

イ 医療安全を担当する看護職研修・交流会 10 月 31 日 参加者 52 人

1－(4) 日本看護協会教育事業への参加協力

ア インターネット配信研修の開催、参加案内

JNA 収録 DVD 研修

・認知症高齢者の看護実践に必要な知識

12 月 17 日 受講者 113 人 修了者 112 人

・看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

11 月 21 日 受講者 94 人 修了者 93 人

・外来における在宅療養支援能力向上のための研修

11 月 26 日 受講者 31 人 修了者 31 人

1－(5) 生涯学習支援体制に基づく生涯学習の推進

ア 研修計画および生涯学習支援体制の枠組みの活用に向けた支援

(ア) 育児休暇中の看護職を対象とした交流会 9 月 24 日 参加者 4 人

(イ) 生涯学習支援体制（概論等）の周知（HP 等）

イ 小規模病院や施設等の生涯学習支援体制づくりの支援

(ア) 看護職代表者に対する生涯学習支援体制の周知と理解のための研修会の開催

(イ) 各施設の人材育成上の課題把握と取り組み支援

(ア)(イ) 12月24日 受講者 42人

ウ 地域全体で生涯学習を支援する体制づくり

・看護職が活動する施設代表者との意見交換会 12月8日 参加者 10人

2 看護業務の調査研究及び開発に関する事業

2- (1) 職能委員活動

看護職の専門性の推進

ア 各職能の連携、情報共有

県内の地域連携・多職種連携状況を確認し、四職能合同研修での事例共有、交流を図る

(ア) 四職能委員長会議の開催 7回

(イ) 四職能合同研修会

・四職能合同研修会開催、評価（別冊「職能委員会活動報告」参照）

11月8日 オンライン研修（Zoom）参加者45人（委員含む）

研修テーマ：専門・認定看護師の役割と地域との連携について考える

専門・認定看護師による活動紹介とグループワーク

イ 保健師職能委員活動 【保健師職能委員会報告 P142 参照】

・保健師職能委員会の活動の周知

・今年度委員会活動についての紹介と協力依頼

・各職場の保健師活動の魅力発信

・助産師職能と保健師職能の合同委員会の開催

個別課題解決から地域課題解決につなげる事例検討を企画、開催する

助産師と保健師の連携強化を図る

(ア) 委員会の開催 9回

(イ) 保健師活動通信発行

『Pretty Health News』の発行 2回

(ウ) 活動報告集作成

(エ) 保健師活動魅力発信パンフレットの作成

(オ) 助産師職能との合同委員会の開催（事例検討会）

特定妊婦の事例検討を通して保健師・助産師それぞれの職種の特性、視点を

ふまえ必要な母子支援の方法、連携について理解する

ウ 助産師職能委員活動 【助産師職能委員会報告 P143 参照】

・母子のための安心安全な地域包括ケアシステムの推進を図る

・母子保健活動において保健師、助産師の役割を把握し地域連携強化につなげる。

・岐阜県における子育て支援事業の現状を理解しながら保健師職能と合同委員会開催し、今後の母子サポートケア支援に役立てる。

・助産師の役割や実践活動に関する意識調査を行い、助産師がモチベーション高く働き続けるために必要な要素や課題を抽出し、改善策等を検討する。

・助産師の確保・活躍を推進し、女性とその家族への支援に必要な体制を整備する。

(ア) 委員会の開催 9回

(イ) アドバンス助産師認定者増加のため情報提供

(ウ) 岐阜県における助産師の活動実態と意識に関する調査、実施、集計、分析、課題抽

出 「分娩取り扱い病院で勤務する助産師の実践活動に関する意識調査」

(エ) 日本看護学会学術集会発表

(オ) 保健師職能委員会との合同委員会、四職能合同研修会の開催

(カ) 助産師職能委員会活動通信

機関誌『NEWSさんばーず』の発行 1回

(キ) 次年度の活動計画案作成 活動のまとめ

エ 看護師職能Ⅰ委員活動 【看護師職能委員会Ⅰ報告 P144 参照】

- ・看護業務の負担軽減に向けたタスク・シフト／シェアの推進を課題とした看護業務の実態について意見を集約し、課題を抽出する

(ア) 委員会の開催 10回

(イ) 調査の試行と調査用紙の修正と完成

(ウ) 調査の実施

(エ) 集計・グラフ作成・分析

(オ) 結果のまとめ

オ 看護師職能Ⅱ委員活動 【看護師職能委員会Ⅱ報告 P145 参照】

- ・高齢者施設・在宅領域等における看護業務の安全と質の向上
- ・災害時に対応できる BCP の推進
- ・岐阜県の看護の質向上に向けて、専門的知識を持っている看護師（専門・認定看護師）の理解と地域との連携を深める
- ・看護協会における職能Ⅱ領域の活動の紹介

(ア) 委員会の開催 11回

(イ) 「高齢者施設で働く看護師研修計画」「高齢者施設で働く新任看護師年間教育計画と評価表」の存在周知のための広報活動の検討

(ウ) 職能Ⅱ領域の看護職に向けて、職能Ⅱ委員会の活動紹介及び学習機会などを発信するリーフレットを作成

(エ) 災害 BCP 推進研修の実施

- ・BCP 推進研修会 9月13日 13:30～15:00

テーマ：「災害時に活用できる BCP 推進」

講演 1. 「災害時フレイルを予防しよう」理学療法士による運動指導

講師：岐阜県看護協会立訪問看護ステーション高山 織橋卓也 氏

講演 2. 訪問看護利用者災害時の情報連携のための準備

講師：大垣中央病院訪問看護ステーション

野村美鈴 氏

訪問看護ステーション和光長良

福井郁子 氏

- ・参加人数 18人

2－（2）看護研究支援

ア 第14回岐阜看護学会（12月13日）

学会テーマ「未来へつなぐ看護～今日はいっぱい語ろうよ～」

発表演題：29題（口演：12題 示説17題）

交流会「好きも得意もキャリアにする“やってみたい”をカタチにしよう」
「やってみたいから始めるわたしの第一歩！わたしらしさで開く新しい扉」
「暮らしもわたしも大切に、わたしの毎日にちょうどいい働き方。自分らしい両立をみつけよう」
「テクノロジーで変わるもっと働きやすい職場へ！未来の働き方を始めよう」
「つながる看護・広がる地域。地球まるごと見る・支える！地域と共に歩むわたしたちのこれから」

特別講演

テーマ：「多様な現場で自分を生かす「視野の広げ方」～自ら考え、動ける人材であるために～」

講師：現場改善コンサルタント・看護管理職 YouTuber
Nバク 氏

参加人数 217 人

- ・抄録選考・査読・指導
- ・論文選考委員会（3 月 27 日） 2 題

イ 看護研究倫理審査

迅速審査 1 題

ウ 第 13 回岐阜看護学会論文集発刊 3 題

エ 看護研究助成金制度 令和 7 年度は利用なし

オ 日本看護学会学術集会（9 月 13 日）

2－（3）図書・資料の充実

ア 図書閲覧・貸出

イ 看護教材貸出

ウ パソコンによる文献検索支援

2－（4）特定行為研修修了者や NP コース修了者の地域活動体制づくりの支援

ア 研修修了者の各支部での活動支援

- ・総会・交流会の開催に向けての支援
代表者会議（6 月 3 日）参加者 4 人
支部代表者会議（3 月 17 日）参加者 12 人
- ・実践力の維持、向上のための研修会の企画、運営
フォローアップ研修の開催（11 月 4 日）参加者 45 人
- ・各支部会の開催
岐阜北支部 （10 月 8 日） 参加者 8 人
岐阜南支部 （10 月 27 日） 参加者 3 人
西濃支部 （10 月 7 日） 参加者 5 人
中濃支部 （9 月 25 日） 参加者 18 人

東濃支部 (9月27日) 参加者 23人

飛騨支部 (10月17日) 参加者 16人

・NPコース修了者の交流会の開催

8月27日 参加者 4人

イ 修了者の活用促進のための支援

・管理者向けの研修会の開催

看護管理者のための特定行為研修・NPコース修了者の活用研修 (1月27日)

参加者 20人

ウ 地域における活動環境づくりに向けた支援

岐阜県医師会の研修会で活動発表を予定したが今年度は協力が得られなかった

3 看護職の労働環境等の改善及び就労促進による県民の健康及び福祉の増進に関する事業

3-（1）健康で安全に働き続けられる環境づくり

ア 看護職のための健康管理と労働環境の整備

（ア）離職防止と職務継続への支援

- ・多様な働き方に対する取り組みの実態調査と実践報告会

「看護職が働き続けるための多様な働き方とやりがいのある職場づくり」

開催日時 1月13日 13:30～16:00

参加者 28人

- ・処遇改善に対する取り組みの実態調査と実践報告会

「働く意欲を高める休暇の作り方」

開催日時 12月22日 13:30～16:00

参加者 31人

（イ）総合相談窓口

- ・看護職OBによる電話相談 延相談件数 0件

- ・臨床心理士による相談

ながら心理相談室にて実施 延利用者 9人

3-（2）看護職員等就業促進研修事業

ア 看護補助者向け事業

看護補助者希望者のための短期職場研修 受講者8人 就職者3人

イ プラチナナース向け事業

- ・プラチナナースセミナー&交流会 10月1日

- ・求人施設向けセミナー

プラチナナース活躍促進セミナー 10月21日

- ・キャリアチェンジ研修会（40～50歳前後・定年前後）

40～50歳前後の看護職向け編 オンライン研修

11月18日 受講者39人

定年60歳前後の看護職向け編 集合研修 12月16日 受講者54人

キャリアチェンジ就職フェア in 岐阜地区

1月29日 参加者23人 求人施設数19施設

ウ 訪問看護就労支援の推進

（ア）岐阜県訪問看護師養成講習会 5月30日～12月1日

全6日間集合研修 実習3日

受講者26人（看護師26人） 修了者27人（昨年度未修了者1人）

エ 医療機関等実施研修

就業希望者への研修実施支援

- ・看護職員等就業促進研修（各医療機関）

実施施設：3施設

受講者 : 看護補助者 8 人

就職者 : 3 人

3－(3) 看護職員再就業支援研修事業

ア 長期離職者等が看護の知識・技術を学び直すことで再就業につなげる

再就業支援研修 5 月 23 日～1 月 20 日 8 回（講義・技術演習）

（岐阜 6 回 東濃・中濃各 1 回）

参加者 65 人

就業者 31 人（再就職 21 人、転職 3 人） 就業継続 7 人

3－(4) 看護職確保対策の強化

ア 地域全体で看護職員を育成し地域からの流出を防ぐための取り組み

・急性期から在宅医療や介護の役割機能が違う関係者で構成するプロジェクト会議の設置

・他県の先行事例を参考に手法及びシステムの検討

イ ナースセンターの役割の強化

（ア）プラチナナースの確保と就業促進

・求人施設のプラチナナース雇用についてリサーチし、結果を基に事例検討など含めた意見交換会

・プラチナナース対象に働き方や場所、機関などリサーチし、結果を基に意見交換会

・プラチナナース人材バンクシステムの管理

・人材バンクの周知、定年退職看護職の登録推進

・プラチナナースの魅力をホームページやイベント会場などで発信

・求人側である施設対象のセミナー開催

プラチナナース活躍促進セミナー 10 月 21 日 29 施設（オンライン）（再掲）

・プラチナナース対象のセミナー&交流会開催 10 月 1 日 参加者 8 人（再掲）

・プラチナナースへの求人情報発信

60 才以上歓迎の求人情報をホームページに掲載

・プラチナナース人材バンクシステムの管理

登録者数 194 人、就職者数 65 人

・人材バンクの周知、定年退職看護職の登録推進

チラシの配布及びハローワーク等に設置

・プラチナナースの魅力をホームページで発信

・キャリアチェンジ就職フェア 1 月 29 日 参加者 23 人 求人施設数 19 施設（再掲）

（イ）看護補助者の働き方の周知と就業促進

・ハローワークとの連携による看護補助者希望者の発掘

ハローワーク共催 看護補助者お仕事セミナー

ハローワーク岐阜 9 月 19 日 参加者 30 人

11 月 21 日 参加者 29 人（予約者 30 人）

ハローワーク多治見 9月25日 参加者6人

ハローワーク関 12月15日 参加者12人

「ナースセンターにおける看護補助者の就業に向けた研修」(中央ナースセンター)
オンデマンド研修 受講者37人

- ・ハローワークやイベント会場での広報
- ・看護補助者対象ナースセンターコンピューターシステム(NCCS)での求人登録システムの運用

(ウ) 地域に応じた看護職確保の取り組み支援

- ・中濃圏域ワーキング会議で提案された地区ごとの課題について取り組み支援

第1回ワーキング会議 10月2日

第2回ワーキング会議 1月27日

- ・ハローワークとの連携強化やタウン誌の活用を通して、潜在看護師の発掘
- ・ハローワーク就業相談

相談回数104回 岐阜本所(岐阜・大垣)24回

多治見支所(多治見・恵那・中津川)36回

中濃サテライト(関・美濃加茂)24回

飛騨サテライト(高山)20回

- ・県内の看護大学等ガイダンスへの参加

就職ガイダンスへの参加1校、参加者23人(学生数21人、教員等2人)

- ・LINEを用いた広報 配信登録者数453人 メッセージ配信78回(R7.4.1～R8.3.31)

3-(5) 看護師等就業の推進

ア 看護師等就業の推進

(ア) ナースセンター事業運営委員会の開催 3月12日

(イ) 看護職員確保対策連絡協議会の開催 2月18日

(ウ) 就業相談と無料職業紹介

求人相談延件数 [岐阜] 3,741件 [多治見] 360件

4,593件 [西濃] 23件 [中濃] 237件 [飛騨] 232件

求職相談延人数 [岐阜] 3,885人 [多治見] 743人

5,616人 [西濃] 100人 [中濃] 467人 [飛騨] 421人

就職者数 463人 [岐阜] 252人 [多治見] 45人 [西濃] 80人

[中濃] 38人 [飛騨] 20人 [県外] 28人

- ・求人施設情報一覧を毎月発行
- ・施設訪問 30件(岐阜9件、東濃7件、西濃5件、中濃3件、飛騨6件)

(エ) ナースセンターコンピューターシステムの運用・情報分析

- ・登録求職者への定期的就業支援

ナースセンター登録者への登録後の現況調査(2・4・6か月)

対象: 延1,518人 回答: 661人(43.5%)

ナースセンター登録就職者への就職後聞き取り調査（1・3・6 か月）

対象：414 人 回答：154 人（37.2%）

（オ）看護補助者の就業の促進・求人情報の集約と定期的な更新

- ・看護補助者の就業相談、就職斡旋
- ・広報活動（再掲）

サマーフェスティバル 8 月 7 日・8 日（OKB ふれあい会館）

ハローワーク共催 看護補助者お仕事セミナー（再掲）

「ナースセンターにおける看護補助者の就業に向けた研修」（中央ナースセンター）オンデマンド研修（再掲）

（カ）ハローワークとの連携強化

- ・ハローワーク（8 か所）へ出向き看護職に対する就業相談（再掲）
- ・ハローワーク岐阜との求人情報連携

ハローワークの求人情報共有、チラシの設置

（キ）調査

- ・病院の看護職員確保定着等に関する調査（調査結果 P85）

対象：病院 93 施設 回答：73 施設

令和 6 年度常勤採用数 1,065 人（内新卒採用数 628 人）

令和 6 年度看護職の離職率 8.89%、新人離職率 8.62%

- ・訪問看護ステーションの看護職員確保定着等に関する調査（調査結果 P101）

対象：350 訪問看護ステーション 回答：178 訪問看護ステーション

（ク）学校訪問（県内看護大学・看護師養成校）（再掲）

（ケ）病院採用ガイドブックの作成

- ・ホームページ上での公開 1 月
- ・周知用チラシの作成と学生への配布 1 月

（コ）ナースセンターだよりの発行 第 85 号 1,200 部
第 86 号 1,200 部

（サ）ナースセンター事業の広報

- ・ホームページの運営
- ・チラシ・パンフレットの配布
- ・ナースセンター紹介動画による、各種研修会での広報

（シ）再就業者の支援研修会等の情報提供

（ス）他団体との連携

- ・労働局との連携

3－（6）魅力ある職業としての看護職のイメージ醸成

ア 「看護の心」の普及促進

（ア）看護週間の周知

- ・県民への広報活動
- ・新聞広告、タウン誌（岐阜・西濃圏域）、ポスター、チラシ、SNS 等 PR

(イ) 看護の日岐阜県大会（県内5圏域）

- ・岐阜：マーサ 21 マーサスクエア 5月17日 参加者 506人
- ・西濃：イオンモール大垣 7月26日 参加者 359人
- ・中濃：マーゴ関 10月18日 参加者 345人
- ・東濃：イオンモール土岐 9月20日 参加者 336人
- ・飛騨：飛騨市古川町公民館

飛騨市福祉・ボランティアフェスティバル

7月6日 参加者 272人

(ウ) ふれあい看護体験（中学生・高校生・一般）

- ・県内39病院で69回実施 703人参加

イ 看護に対する適切な進路選択の推進

(ア) 看護学校・看護大学等の進路情報の提供

- ・看護関係進路説明会 3月14日 オンライン開催
看護系養成機関13校参加
21組参加（高校生21人、保護者5人）
- ・岐阜県看護関係学校養成所ガイドブック 2月発行（冊子3,000部、デジタル版）
- ・奨学金情報の集約 64施設

(イ) 若年層（小中学生）への看護職のアピール

- ・看護の日・サマーフェスティバル等の機会を捉えて実施
- ・ラジオ「おしえて ぎふチャンラジオ」
11月 第1～4金曜日 12:40～12:55 全4回放送
- ・イベント マーニャタウン（お仕事紹介） マーサ 21
11月2日 参加者 14人
- ・福祉のお仕事体験フェスタ ふくしワールド 看護ブース出展
11月15日 参加者 258人 認定看護師 5人

(ウ) 県内中学・高校への出前授業の実施

開催校：25校（小学校2校、中学校・義務教育学校8校、高等学校15校）
参加者：827人（教員等を含む）

(エ) 准看護師に対する看護師学校養成所2年課程通信制の情報提供

- ・相談者への情報提供を適宜実施

4 地域看護サービス及び災害時の支援等に関する事業

4－（１）県民への健康相談の実施

ア まちの保健室事業

（ア）まちの保健室の実施

a 地域での健康相談

b その他の健康相談

- ・グランヴェール岐山で開催された「歯と健康の県民フォーラム」 11月3日

相談者他 45人 協力：認定看護師 3人

- ・サマーフェスティバル 8月7日・8日 参加者 655人

イ 県内（小中高）校への出前講座（再掲）

- ・県内（小中高）校への出前講座を行い、看護の普及活動を図る
- ・県内の高校（中学校）への案内・受講募集
- ・出前講座の実施・評価

ウ 電話相談

4－（２）災害・健康危機に備えた体制の整備

ア 災害支援ナース養成の推進とネットワークの整備 【災害看護委員会報告 P151 参照】

（ア）災害看護研修会の開催（再掲）

- ・災害支援ナース養成研修（日本看護協会教育事業）
- ・災害看護研修
- ・災害支援ナースフォローアップ研修

（イ）災害支援ナースの養成・修了者リストの管理

（ウ）災害支援マニュアルの見直し

（エ）施設や災害支援ナースとのネットワークの整備

（オ）災害時の支援活動

（カ）災害訓練の参加

- ・受援訓練の実施報告 1月16日

イ 災害看護の普及

（ア）看護の日における県民への災害看護普及活動

4－（３）支部活動の充実 【支部活動報告 P134 参照】

ア 支部組織の強化

（ア）支部活動の推進

- ・地域の看護職の連携推進
- ・行政機関、多職種との連携推進
 - 施設代表者会議への行政の保健師の参加呼びかけ
 - 連携会議・研修会の開催
 - 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会ブロックとの連携（共催研修）
- ・地域の人々のニーズに応える看護の展開
- ・看護職が安心して働き続けられる環境づくりの推進

(イ) 施設看護職代表者会議の開催と内容の充実

- ・未参加施設への参加拡大の働きかけ

4- (4) 岐阜県看護協会訪問看護総合支援センターの体制整備と運営

ア 訪問看護事業所における看護職確保の推進と職場での定着を支援する取り組み

(ア) 新人（新卒）看護師の訪問看護事業所への就業促進および、訪問看護師として自立するための体制づくり

- ・看護学生および看護教員の訪問看護体験型研修

教員 8月7日 体験者2人

看護学生 8月7日～9月30日開催 体験者13人

- ・看護学生と新卒訪問看護師の交流会

看護学生と新卒訪問看護師交流会開催 8月18日 受講者4人

- ・岐阜県医療施設等による就職ガイダンス参加 主催：岐阜県立看護大学

7月30日

- ・訪問看護事業所向け研修 1月24日 受講者20人

(イ) 新任訪問看護師の定着を図るための支援体制づくり

- ・新任訪問看護師を対象とした研修

新任訪問看護師研修 12月18日～3月23日 受講者10人 修了者10人

訪問看護事業所向け 指導者研修 2月20日 受講者19人

3月17日 受講者16人

(ウ) 小規模事業所における人材確保および定着等に関する現状把握

- ・中濃圏域における訪問看護の人材確保・定着と空白地域対応に向けた支援体制構築会議

可茂地区 11月20日 12人 3月13日 11人

関地区 11月21日 7人 3月19日 4人

郡上地区 11月25日 2人 3月18日 3人

イ 訪問看護師の安定的確保を推進するための、研修会等の企画・運営

訪問看護師病院等研修・訪問看護実践研修 合同研修 2月5日 受講者20人

(ア) 事業所運営等に関する研修の実施

訪問看護事業所運営支援研修（人材） 1月27日 受講者10人

訪問看護事業所運営支援研修（経営） 2月8日 受講者9人

(イ) 訪問看護病院等研修の実施

- ・訪問看護師病院等研修の開催

10月8日～2月27日 受講者11人 修了者7人

(ウ) 訪問看護実践研修の実施

9月25日～2月5日 受講者14人 修了者13人

(エ) ホームページ、SNS などを用いた訪問看護の周知

(オ) 看護系学校への職業紹介

県立看護大学 就職ガイダンスへの参加

ウ 訪問看護の資質向上に向けた訪問看護に関する研修会等を総合的に提供する体制の構築

(ア) 相談窓口の運営

4月1日～3月31日までの相談者数は160人、相談件数は187件

(イ) 訪問看護事業所における実態調査

4- (5) 高齢者施設における看護の質の向上

ア 訪問看護事業所等専門・認定看護師の運用の活用（再掲）

4- (6) 医療的ケア児支援【重症心身障がい在宅支援センターみらい事業報告 P113 参照】

ア 「医療的ケア児支援センター」「重症心身障がい在宅医療等支援センターみらい」の運営

(ア) 家族交流会の開催

〔飛騨〕5月31日 参加者：20人（本人・家族11人、支援者（ボランティア）3人、スタッフ等5人、パフォーマー1人）

〔岐阜〕6月29日 参加者：43人（本人・家族27人、支援者8人、スタッフ7人、講師1人）

〔東濃〕9月6日 参加者：33人（本人・家族20人、支援者5人、スタッフ6人、講師2人）

〔中濃〕10月25日 参加者：24人（本人・家族13人、支援者（ボランティア）5人、スタッフ4人、県1人、講師1人）

〔西濃〕11月30日 参加者：23人（本人・家族11人、支援者6人、県1人、スタッフ4人、講師1人）

(イ) 機関誌の発行

第21号 8月、第22号 1月発行（各1,500部）

(ウ) 小児在宅支援者研修

小児在宅支援者研修会（ハイブリッド） 2月11日

・受講者：午後講義31人（内Zoom18人）

(エ) 教育機関等における医療的ケア児看護人材育成研修

・7月16日・8月20日・10月9日・11月11日 計4日間実施

受講者34人 修了者26人

7月16日・8月20日 オンライン研修

10月9日・11月11日 集合研修（演習、グループワーク）

5 在宅療養支援に関する事業

5- (1) 訪問看護ステーション、ケアプランセンター及び療養通所介護事業所の運営

【訪問看護・居宅介護支援・療養通所介護事業報告 P128 参照】

ア 訪問看護ステーション事業

訪問看護ステーション高山は、機能強化型訪問看護ステーションとしての位置づけで活動継続

診療報酬も「機能強化型訪問看護管理療養費Ⅰ」の基準で算定

医療依存度の高い在宅療養者の生活を支える訪問看護事業を展開

イ 療養通所介護事業

包括報酬の報酬体系として3年目で、利用者の確保と経営安定への効果あり

医療的ケアを望む利用者が増加しており、できるだけ希望に沿った形で対応できるよう調整している。

- ・対象者 難病等を有する重度要介護者、がん末期の者及び要介護状態にあるもの
- ・利用定員 8人 宿泊サービス(オプション)は3人
- ・実施地域 高山市

ウ 講演会等 訪問看護の紹介、理学療法士による腰痛予防体操等

10回 74人

エ 居宅介護支援事業

ケアプランセンター高山は、特定事業所加算Ⅱを算定し4人の常勤ケアマネジャーで高山市・飛騨市を訪問範囲としてケアマネジメントを展開している。医療依存度の高い在宅療養者についてのケアマネジャー依頼が多く在宅看取りケースも多い。ターミナルケア加算を年間15件算定し、全国的には数パーセントしか算定されていない、医療介護連携加算を算定している。

6 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス事業【訪問看護・居宅介護支援・療養通所介護事業報告 P128 参照】

6ー（１）療養通所介護事業所における障害福祉サービスの実施

ア 事業内容

一般的な新規依頼のほか、病院から紹介される医療依存度の高いケースや、地域包括支援センターからの困難事例といった通常のケアマネジャーでは対応困難なケースが多い

状態不安定な方が多く、契約のみで利用まで行かなかった方、一回のみの利用で終了となった方もあり収益に結びつかないケースもしばしばあった。

- ・生活介護事業

イ 対象者

- ・重症心身障がい者（重症の知的及び上肢、下肢、体幹の機能障害）
- ・難病等対象者

ウ 利用定員

- ・療養通所介護事業所利用定員の内 5 人
- ・宿泊サービス（オプション）は 3 人

エ 実施地域 高山市、飛騨市、下呂市

7 児童福祉法に基づく障害児通所支援事業

【訪問看護・居宅介護支援・療養通所介護事業報告 P128 参照】

7ー（１）療養通所介護事業所における障害児通所支援事業の実施

ア 事業内容

利用者と利用回数がほぼ固定しているため、安定した事業が行えている

- ・児童発達支援事業
- ・放課後等デイサービス事業

イ 対象者

- ・重症心身障がい児

ウ 利用定員

- ・療養通所介護事業所利用定員の内 5 人
- ・宿泊サービス（オプション）は 3 人

R7 年度の宿泊サービスでは同じ人で 2 回のご利用があった。（児童発達支援）

エ 実施地域 高山市、飛騨市、下呂市

8 その他本会の目的を達成するために必要な事業

8-1 (1) 広報活動に関する事項

ア 県民、看護職及び会員への情報提供の充実

(ア) ホームページの充実・SNS の活用

(イ) 機関紙「看護ぎふ」の発行 【広報出版委員会報告 P149 参照】

令和 7 年度定時総会特集号 (5 月 16 日) 発行数 : 11,500 部

第 111 号発行 (8 月 1 日) 発行数 : 12,600 部

第 112 号発行 (10 月 31 日) 発行数 : 12,900 部

第 113 号発行 (1 月 15 日) 発行数 : 12,900 部

(ウ) 本会関連冊子の作成と普及

(エ) 看護協会認知度向上のための広報

8-1 (2) 組織に関する事項

ア 協会組織の強化

・会員数 12,240 人

イ 諸会議の開催

(ア) 定時総会 (6 月 18 日)

会場 : 岐阜県県民ふれあい会館 サラマンカホール

出席代議員 : 129 人 一般参加会員 : 130 人

(イ) 理事会 8 回 【理事会報告 P131 参照】

(ウ) 四役会 7 回

(エ) その他業務執行に係る会議

・常任理事会 8 回

(オ) 各種委員会

合同委員会 (6 月 26 日) 1 回

推薦委員会 4 回

選挙管理委員会 3 回

その他委員会の開催 【職能委員会報告 P142 参照・委員会報告 P147 参照】

(カ) 岐阜県看護協会員施設代表者会議

ウ 支部組織の強化

(ア) 支部組織活動の推進

(イ) 支部長会の開催 6 回

8-1 (3) 会員に関する支援

ア 会員の活動に対する支援

(ア) 看護研究助成事業 (1 研究 20 万円限度とし、3 研究/年)

7 年度の対象者は無し

イ 入会促進事業

(ア) 未入会看護職への働きかけ

(イ) 看護学生への働きかけ

教育機関入学式・卒業式・戴帽式へ出席または祝電を送り職能団体の PR

・入学式（2校・出席）（20校・祝電）（1校・祝辞）

・卒業式（5校・出席）（18校・祝電）（1校・祝辞）

ウ 会員サービスの充実

（ア）会員管理 会員数：12,240人

（内 保健師：235人 助産師：419人 看護師：11,222人 准看護師：364人）

（イ）新入会員への情報提供

（ウ）継続会員の更新手続き及び未入会者への入会案内

（エ）会員の福利厚生

・表彰

日本看護協会会長表彰 受賞者 2人

岐阜県看護協会会長表彰 受賞者 31人

・慶弔見舞い 3人

（3人の方が逝去され弔慰を表した）

・災害見舞い 1名

・「看護職賠償責任保険」制度の情報提供

・宿泊、健康施設等の情報提供

・臨床心理士による相談

（オ）会員からの問い合わせ対応

8－（4）日本看護協会関係会議、事業への出席

【日本看護協会・関係団体の会議、研修会参加 P65 参照】

・通常総会（6月11日） 開催地：千葉 代議員：13人

職能別交流集会（6月12日）

代議員研修会（5月22日）

・理事会 6回

・職能委員長会（第1回 8月1日）

（第2回 3月6日）

・各種担当者会議 等

8－（5）看護関連政策への提言

ア 関係会議等への意見反映 【関係機関等への意見反映 P68 参照】

イ 岐阜県及び関係行政機関等への提言、要望【政策要望活動 P60 参照】

岐阜県知事（岐阜県健康福祉部）への要望（11月7日）

県当初予算編成に対する要望 自由民主党岐阜県支部連合会（11月4日）

岐阜県議会岐阜県看護対策議員連盟勉強会 第11回看護を考える会（3月3日）

ウ 日本看護協会看護政策実現のための協力

事業報告の附属明細書

政策要望活動

令和7年11月7日

岐阜県知事 江崎 禎英様

公益社団法人岐阜県看護協会
会 長 青 木 京 子

要 望 書

貴職におかれましては、日頃より保健・医療・福祉等の施策充実のためにご尽力いただいておりますことに感謝申し上げます。

少子化・人口減少の進むなか、保健・医療・介護現場の看護職不足はますます深刻となると思われます。

当協会といたしましては、県民の皆様が安全、安心に医療を享受するために看護の魅力を発信し看護職の活動を周知するとともに、看護職確保へとつなげる取り組みに力をいれています。取り組みでは、メンタルサポート等による新人看護師の離職防止をはじめ、経験を積んだ看護職の就業促進に向けた支援により看護人材確保に努めています。また、地域において専門・認定看護師や認定看護管理者による質の高い看護を提供するためのネットワークづくりも進めておりますが、厳しい財政環境の中、事業の遂行にあたっては困難を極めているのが実情でございます。

つきましては、岐阜県看護協会への支援を引き続きお願いいたしますとともに、県民の皆様に充実した質の高い看護の提供をするべく、令和8年度岐阜県当初予算に関し、以下の事項について、特段のご配慮とご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

要 望 事 項

<継続事業>

1. ナースセンターの役割強化と事業拡充のための経費の確保
2. “看護の日”等、「看護の心」普及事業拡充のための経費の確保
3. 災害・感染症蔓延時の対応力強化として岐阜県立看護大学に感染症看護専門・認定看護師養成コースを開設
4. 訪問看護総合支援センターの県事業化と訪問看護師確保・育成に対する支援

令和8年度岐阜県の予算・政策に関する要望書

継続1. ナースセンターの役割強化と事業拡充のための経費の確保

看護職の確保では、令和6年度より定年前後にある看護職「プラチナナース」の雇用促進事業を展開しています。今後は、「プラチナナース」の中で、看護管理（看護部長等）経験者を相談役としてスポット的（時間単位）に活用する、専門・認定看護師の資格を持つ者を複数施設が活用する（日単位）など柔軟な働き方の提案により看護師確保に取り組みます。また、看護職の負担軽減では看護補助者の確保・育成に向け、ハローワークとの連携強化に取り組みます。事業拡充のための経費の確保をお願いします。

継続2. “看護の日”等、「看護の心」普及事業拡充のための経費の確保

「看護の心」普及事業では、県民の健康意識を高め、地域での健康な暮らしを守るため県内5圏域で「看護の日」イベントを行っています。令和7年度は「看護協会まちの保健室」を設置し、市町の保健師による健康チェック・相談も開始していますが、今後は地域のイベント等に参加し、地域特性や課題に応じた健康づくりの提案・事業を展開したいと考えます。地域の保健師、専門・認定看護師等が連携した積極的な事業展開のため、事業拡充の経費の確保をお願いします。

継続3. 災害・感染症蔓延時の対応力強化として岐阜県立看護大学に感染症看護専門・認定看護師養成コースを開設

感染症看護専門・認定看護師は感染予防と発生時の適切な対策に従事し感染症の患者に水準の高い看護を提供しますが、岐阜県内には「感染症看護」の養成講座が無いため、県外の養成機関での受講となっています。災害・感染症蔓延時の対応力強化のためには、病院・福祉施設等に一人でも多くの感染症看護専門・認定看護師配置が望ましいと考えます。

岐阜県立看護大学に感染症看護専門・認定看護師養成コースの開設をしていただければ幸いです。

継続4. 訪問看護総合支援センターの県事業化と訪問看護師確保・育成に対する支援

本会の訪問看護総合支援センターでは、令和6年度より「新卒訪問看護師確保事業」を県より受託し、看護学生や看護教員が訪問看護をより理解し、就業につながるための事業を進めています。また、令和9年3月卒業予定の学生に訪問看護事業所での就業を希望する者を認めており、受け入れ体制の整備が急がれます。今後の体制整備のためにも、新卒訪問看護師の確保・育成のためにも、必要な経費について継続的に支援をお願いいたします。

令和8年度 県当初予算編成に対する要望書

友好団体名	岐阜県看護連盟・岐阜県看護協会
報告者名	会長 伊川 順子・会長 青木 京子
連絡先	(058)268-7340 ・ (058)277-1008

	要 望 事 項
厚 生 環 境 委 員 会	公益社団法人岐阜県看護協会 会長 青木 京子 岐阜県看護連盟 会長 伊川 順子 新規事業 1. 医療的ケアに関する要望 医療的ケアに関わる学校配置の看護師処遇改善（休業補償、正規職員としての配置、処遇改善など） 継続事業 1. ナースセンターの役割強化と事業拡充のための経費の確保 2. “看護の日”等、「看護の心」普及事業拡充のための経費の確保 3. 災害・感染症蔓延時の対応力強化として岐阜県立看護大学に感染症看護専門・認定看護師養成コースを開設 4. 訪問看護総合支援センターの県事業化と訪問看護師確保・質向上に対する支援

詳細説明資料

令和8年度岐阜県の予算・政策に関する要望書

新規1. 医療的ケアに関する要望

医療的ケアに関わる学校配置の看護師処遇改善（休業補償、正規職員としての配置、処遇改善など）

継続1. ナースセンターの役割強化と事業拡充のための経費の確保

看護職の確保では、令和6年度より定年前後にある看護職「プラチナナース」の雇用促進事業を展開しています。今後は、「プラチナナース」の中で、看護管理（看護部長等）経験者を相談役としてスポット的（時間単位）に活用する、専門・認定看護師の資格を持つ者を複数施設が活用する（日単位）など柔軟な働き方の提案により看護師確保に取り組みます。また、看護職の負担軽減では看護補助者の確保・育成に向け、ハローワークとの連携強化に取り組みます。事業拡充のための経費の確保をお願いします。

継続2. “看護の日”等、「看護の心」普及事業拡充のための経費の確保

「看護の心」普及事業では、県民の健康意識を高め、地域での健康な暮らしを守るため県内5圏域で「看護の日」イベントを行っています。令和7年度は「看護協会まちの保健室」を設置し、市町の保健師による健康チェック・相談も開始していますが、今後は地域のイベント等に参加し、地域特性や課題に応じた健康づくりの提案・事業を展開したいと考えます。地域の保健師、専門・認定看護師等が連携した積極的な事業展開のため、事業拡充の経費の確保をお願いします。

継続3. 災害・感染症蔓延時の対応力強化として岐阜県立看護大学に感染症看護専門・認定看護師養成コースを開設

感染症看護専門・認定看護師は感染予防と発生時の適切な対策に従事し感染症の患者に水準の高い看護を提供しますが、岐阜県内には「感染症看護」の養成講座が無いため、県外の養成機関での受講となっています。災害・感染症蔓延時の対応力強化のためには、病院・福祉施設等に一人でも多くの感染症看護専門・認定看護師配置が望ましいと考えます。

岐阜県立看護大学に感染症看護専門・認定看護師養成コースの開設をしていただけますようお願いいたします。

継続4. 訪問看護総合支援センターの県事業化と訪問看護師確保・育成に対する支援

本会の訪問看護総合支援センターでは、令和6年度より「新卒訪問看護師確保事業」を県より受託し、看護学生や看護教員が訪問看護をより理解し、就業につながるための事業を進めています。また、令和9年3月卒業予定の学生に訪問看護事業所での就業を希望する者を認めており、受け入れ体制の整備が急がれます。今後の体制整備のためにも、新卒訪問看護師の確保・育成のためにも、必要な経費について継続的に支援をお願いいたします。

日本看護協会・関係団体の会議、研修会参加

会議・研修会名等	出席者	日程・場所
日本看護協会通常総会 全国職能別交流集会	出席代議員 13 名 (保健師 1 名 助産師 2 名 看護師 9 名 准看護師 1 名)	6 月 11 日 6 月 12 日 幕張メッセ
法人会員会	会長	5 月 9 日 7 月 25 日 9 月 19 日 11 月 28 日 8 年 2 月 20 日
日本看護協会理事会	会長 (日本看護協会地区理事)	5 月 9 日 6 月 11 日 7 月 24 日・25 日 9 月 19 日 11 月 27 日・28 日 8 年 2 月 19 日・20 日
東海北陸地区看護協会会長情報交換会	会長・専務理事・若原常務理事・ 岩崎常務理事	10 月 6 日 (オンライン開催)
東海北陸地区法人会員会	会長・専務理事	10 月 16 日・17 日 石川県
全国職能委員長会	4 職能委員長	8 月 1 日 TKP 新橋カンファ レンスセンター 3 月 6 日 TKP 新橋カンファ レンスセンター
東海北陸地区職能委員長会	4 職能委員長	10 月 17 日 石川県
看護労働担当者会議	若原常務理事	7 月 17 日 (オンライン開催)
都道府県看護協会会員情報管理情報交 換会	専務理事 若原常務理事	7 月 30 日 (オンライン開催)
都道府県看護協会教育担当役員会議	岩崎常務理事	9 月 10 日 (オンライン開催)
医療事故調査制度に関する情報交換会	会長 若原常務理事	11 月 11 日 (オンライン開催)
都道府県看護協会政策責任者会議	会長 専務理事	9 月 18 日 JNA ホール
日本看護サミット 訪問看護サミット	会長 専務理事 岩崎常務理事	2 月 5 日 (神奈川県) 11 月 8 日 (オンライン参加)
都道府県看護協会健康危機管理担当者 会議	若原常務理事 看護教育課兼看護研修課課長 ナースセンター課長	12 月 17 日 (オンライン開催)

会議・研修会名等	出席者	日程・場所
	訪問看護総合支援センター課長 重症心身障がい在宅支援センター課長	
都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議	会長 岩崎常務理事	11月13日 (オンライン開催)
都道府県看護協会広報担当役員会議	専務理事 (若原常務理事) (岩崎常務理事)	11月19日 (オンライン開催)
全国看護基礎教育担当役員会議	岩崎常務理事	3月10日 (オンライン開催)
岐阜県看護協会・連盟 合同会議	会長 専務理事 若原常務理事 岩崎常務理事	4月25日 岐阜県看護連盟 6月23日 岐阜県看護協会 8月29日 岐阜県看護連盟 10月27日 岐阜県看護協会 12月19日 岐阜県看護連盟 2月27日 岐阜県看護協会
〔役職員の研修等参加〕 公益法人運営に関する勉強会	会長 専務理事 若原常務理事 岩崎常務理事	7月16日 (オンライン開催)
日本看護管理学会学術集会	会長	8月22日・23日 グランドメルキュール札幌 大通公園・札幌市教育文化会館
第1回指定公共機関の国民保護担当者研修会	若原常務理事	9月9日 (オンライン参加)
第56回日本看護学会学術集会	会長 専務理事 若原常務理事 岩崎常務理事	9月12・13日・14日 ポートメッセ名古屋
岐阜県看護連盟・岐阜県看護協会合同研修会	会長 専務理事 若原常務理事	9月27日 ホテルグランヴェール岐山

会議・研修会名等	出席者	日程・場所
文献複写サービスに関する勉強会	岩崎常務理事	9月29日 (オンライン参加)
都道府県看護協会図書室担当者研修会	岩崎常務理事	10月7日 (オンライン参加)
出産に対する新たな医療保険給付等に関する勉強会	会長	12月24日 (オンライン参加)
令和7年度難病ケアコーディネーター等研修会	専務理事	2月12日 (オンライン参加)
医療的ケア児在宅医療研修会	専務理事 若原常務理事	2月1日 三重大学
岐阜県の在宅輸血の適正推進を考える会 令和7年度研修会	会長 専務理事	2月26日 岐阜県赤十字血液センター
在宅医療・介護連携推進圏域別研究会	若原常務理事	3月24日 (オンライン参加)
四師会による災害時の医療救護活動に関する協定に基づく「災害医療研修会」	会長 専務理事 若原常務理事	2月28日 (オンライン参加)
第2回在宅医療連携強化研修会	専務理事 若原常務理事	2月8日 岐阜県医師会館
岐阜県看護対策議員連盟 看護を考える会	会長 専務理事 若原常務理事 岩崎常務理事	3月3日 岐阜県庁
世界肥満 Day 企画 栄養と肥満症セミナー	会長 専務理事 若原常務理事 岩崎常務理事	3月4日 じゅうろくプラザ

関係機関等への意見反映

関係機関委員会等	本会職名
岐阜県口腔保健協議会 理事	会長 代理出席 専務理事
岐阜県地域医療対策協議会 委員	会長
岐阜県公衆衛生協議会	会長
岐阜県水防協議会	会長 代理出席 専務理事
岐阜県圏域地域医療構想等調整会議	会長 専務理事 若原常務理事 岩崎常務理事
在宅医療・介護連携推進圏域別研究会	若原常務理事
岐阜県看護連盟通常総会	会長 専務理事
岐阜県地方独立行政法人評価委員会 専門委員	会長
岐阜県医療審議会 委員	会長
公益財団法人岐阜県アイバンク・臓器移植推進財団	会長
岐阜県社会福祉協議会 評議員会 評議員	会長
岐阜県社会福祉審議会 委員	会長
岐阜県がん診療連携拠点病院支援協議会 委員	会長
岐阜県糖尿病対策推進協議会 幹事	会長
岐阜県医療勤務環境改善支援センター運営協議会 委員	会長
学校関係者評価委員会（岐阜県立下呂看護専門学校）	会長
学校関係者評価委員会（JA 岐阜厚生連看護専門学校）	会長
学校関係者評価委員会 評価委員	会長
県立多治見看護専門学校 学校運営評価会議 評議員	会長
岐阜県がん対策推進協議会 委員	会長
一般社団法人岐阜県病院協会 参与	会長
岐阜県防災会議 委員会	会長
岐阜県地震防災行動計画検討委員会	会長
歯と健康の県民フォーラム準備（実行）委員会 委員	会長
岐阜県周産期医療協議会 委員	会長
看護師特定行為研修管理委員会 外部委員	会長
岐阜県メディカルコントロール協議会 委員	会長

関係機関委員会等	本会職名
全国メディカルコントロール協議会連絡会	会長
看護職員確保対策連絡協議会	会長
岐阜県看護教育機関連絡協議会	会長
岐阜県循環器病対策推進協議会 委員	会長
岐阜県友好団体連絡協議会	会長・専務理事 ・若原常務理事
一般社団法人岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会 理事	会長
看護人材に関する三者連絡協議会 委員	会長
看護の人材育成と活用等に関する連絡協議会 委員	会長
岐阜家庭裁判所委員会 委員	会長
岐阜県地域福祉対策協議会	会長
医療事故調査制度に基づく院内事故調査委員会	会長
岐阜県慢性腎臓病対策推進協議会 委員	会長
岐阜県感染症対策連携協議会 委員	会長
岐阜県新型インフルエンザ等対策推進協議会 委員	会長
岐阜県小児医療協議会 委員	会長 代理出席 若原常務理事
岐阜県医療関係機関による災害時医療救護協定検討会議 委員	会長
岐阜県の在宅輸血の適正推進を考える会	会長
岐阜県災害支援対策本部員会議	会長
地震災害警戒本部員	会長
岐阜県国民保護協議会 委員	会長
ねんりんピック岐阜 2025 実行委員会 委員	会長
ねんりんピック岐阜 2025 岐阜市実行委員会 委員	会長
ねんりんピック岐阜 2025 大垣市実行委員会 委員	会長
人材確保対策推進協議会	会長
岐阜県犯罪被害者支援活動推進協議会	会長
地域リハビリテーション支援体制のあり方検討会 委員	会長 代理出席 岩崎常務理事

関係機関委員会等	本会職名
岐阜県アレルギー疾患対策推進協議会 委員	専務理事
岐阜県小児保健協会	専務理事
医療に関する協議会	専務理事

関係機関委員会等	本会職名
	代理出席 看護研修課長兼看護教育課長
岐阜県難病医療連絡協議会	専務理事
岐阜県自殺総合対策協議会委員会 委員	専務理事
岐阜県居宅介護支援事業協議会	専務理事
岐阜県在宅医療連携推進会議	専務理事
岐阜県保険者協議会	専務理事
岐阜県高齢者安心計画作成・推進会議	専務理事
岐阜県国民健康保険団体連合会介護給付費等審査委員会 審査部会 委員	専務理事
岐阜県精神保健福祉審議会 委員	専務理事
岐阜県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 委員	専務理事
岐阜県介護実習・普及センター運営委員会 委員	専務理事 代理出席 岩崎常務理事
岐阜県防災会議 幹事会	専務理事
岐阜県障害者介護給付費等不服審査会専門調査員・岐阜県障害者通所給付費等不服審査会専門調査員	専務理事
岐阜県ギャンブル等依存症対策協議会	専務理事
岐阜県外国人患者受入体制整備協議会	専務理事
岐阜県国民保護協議会 幹事	専務理事
岐阜県 8020 運動推進協議会	専務理事
岐阜県口腔保健支援センター推進協議会 委員	専務理事
岐阜県障がい者総合支援懇話会	若原常務理事
岐阜県医療事故調査等支援団体連絡協議会 委員	若原常務理事・事業振興課 課長
岐阜県医療安全推進協議会	若原常務理事
岐阜市民病院地域医療支援委員会 委員	岩崎常務理事
岐阜県児童福祉審議会 委員	岩崎常務理事

関係機関委員会等	本会職名
郡上市国民保護協議会、郡上市防災会議 委員	中濃支部長
世界糖尿病デー記念セミナー企画打合せ委員	認定看護師 1 名
岐阜県介護保険審査会 専門調査員	協会より推薦
岐阜市介護認定審査会委員	協会より推薦

関係機関委員会等	本会職名
羽島市・羽島郡二町介護認定審査会委員	協会より推薦
揖斐郡介護認定審査会委員	協会より推薦

関係機関との連携 岐阜県看護連盟 岐阜県看護教育機関連絡協議会 一般社団法人岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会 一般社団法人全国訪問看護事業協会 岐阜県市町村保健師部会 一般社団法人岐阜県助産師会 岐阜県小児保健協会 一般社団法人日本精神科看護協会 岐阜県支部	
--	--

関係団体後援及び共催等

〔後 援〕

名 称	開催日
第 5 回日本周産期精神保健研究会	4 月 26 日・27 日
第 18 回郡上糖尿病勉強会研修会	5 月 15 日
失語症全国大会 in ぎふ	6 月 7 日
「いのちの授業」を体験的に学ぶ	6 月 7 日
第 35 回岐阜県理学療法学会学術集会	6 月 15 日
地域のみinnで診る心不全交流会	6 月 26 日
令和 7 年度「こころの日」	7 月 5 日
放送大学岐阜学習センター 大卒「学位取得」説明会	8 月 24 日
第 40 回東海北陸理学療法学会学術大会	9 月 7 日・8 日
献血感謝の集い	9 月 9 日
岐阜脳損傷リハビリテーション講習会	9 月 13 日
日本エンドオブライフケア学会第 8 回学術集会	9 月 13・14 日
楽足楽歩で健足生活 3 世代で足を元気にする！	9 月 14 日
第 39 回岐阜県老健大会	9 月 21 日
第 1 回岐阜県臓器移植セミナー	9 月 27 日
CKD（慢性腎臓病）対策講演会（市民公開講座）	9 月 28 日
第 19 回郡上糖尿病勉強会研修会	10 月 9 日
第 7 回ぎふささえあいフェスタ	10 月 19 日・20 日
第 40 回岐阜県病院協会医学会	10 月 26 日
第 14 回 岐阜ストーマリハビリテーション講習会	11 月 1 日～11 月 30 日 (e-ラーニング) 12 月 7 日（集合研修）
第 31 回「歯と健康の県民フォーラム」	11 月 3 日
第 15 回岐阜県小児在宅医療研究会	11 月 3 日
iPS 細胞による腎臓再生医療の現状と将来（市民公開講座）	11 月 16 日
第 25 回岐阜県嚥下障害研究会学術大会	11 月 23 日
令和 7 年度岐阜県医師会県民健康セミナー・岐阜県認知症理解普及講座	12 月 7 日
第 25 回人間福祉学会 2025	12 月 14 日
第 2 回岐阜県臓器移植セミナー	1 月 31 日
第 11 回東海三県小児在宅医療研究会	2 月 1 日
放送大学岐阜学習センター 大卒「学位取得」説明会	2 月 22 日

名 称	開催日
世界肥満 Day 企画 栄養と肥満症セミナー	3 月 4 日
一般社団法人日本看護研究学会 第 30 回東海地方会学術集会	3 月 14 日
第 12 回東海口腔ケアフォーラム	3 月 15 日

〔祝賀行事・その他の行事に出席〕

名 称	開催日・出席者
ねんりんピック岐阜 2025 岐阜市実行委員会 第 2 回総会	4 月 25 日 会長
ねんりんピック岐阜 2025 大垣市実行委員会 第 2 回総会	4 月 30 日 会長
一般社団法人岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会 総会	5 月 24 日 会長
岐阜県居宅介護支援事業協議会通常総会・春季研修会	5 月 24 日 専務理事
木曽三川連合総合水防演習	5 月 25 日 会長
一般社団法人オリーブビーイング設立記念講演会	5 月 31 日 会長 専務理事
公益社団法人岐阜県栄養士会定時総会	6 月 1 日 会長
一般社団法人岐阜県助産師会通常総会	6 月 1 日 (代理出席) 専務理事
日本看護連盟通常総会	6 月 6 日 会長
松波総合病院創立 125 周年 記念式典及び西館竣工式	6 月 15 日 会長
岐阜県看護連盟通常総会	6 月 21 日 会長 専務理事
岐阜医療科学大学「医療 MaaS 用車両」の完成披露式典・特別講演	6 月 29 日 会長 専務理事
ねんりんピック岐阜 2025 実行委員会 第 3 回総会	7 月 9 日 会長
ねんりんピック岐阜 2025 100 日前記念イベント	7 月 11 日 会長
愛知県看護協会新会館完成記念式典及び祝賀会	7 月 12 日 会長
献血感謝の集い	9 月 9 日 会長
岐阜県医師会館内覧会及び竣工記念式典	9 月 14 日 会長
日本緩和医療学会 第 7 回東海・北陸支部学術大会	9 月 20 日 岩崎常務理事
CKD（慢性腎臓病）対策講演会	9 月 28 日 専務理事
ねんりんピック岐阜 2025 総合開会式	10 月 18 日 会長
和光会グループ 創立百周年記念式典	10 月 25 日 会長
第 40 回岐阜県病院協会医学会	10 月 26 日 会長
第 31 回歯と健康の県民フォーラム	11 月 3 日 会長

名 称	開催日・出席者
第 15 回岐阜県小児在宅医療研究会	11 月 3 日 若原常務理事
全国重症心身障害児(者)を守る会 第 35 回東海北陸ブロック大会	11 月 8・9 日 若原常務理事
「iPS 細胞による腎臓再生医療の現状と将来」講演会	11 月 16 日 専務理事
国民医療を守るための総決起大会	11 月 20 日 若原常務理事
岐阜県糖尿病対策推進協議会 総会	12 月 6 日 会長
ねんりんピック岐阜 2025 大垣市実行委員会 第 3 回総会	12 月 23 日 会長
第 11 回東海三県小児在宅医療研究会	2 月 1 日 専務理事 若原常務理事
ねんりんピック岐阜 2025 感謝状贈呈式	2 月 9 日 会長
ねんりんピック岐阜 2025 岐阜市実行委員会 第 3 回総会	3 月 30 日 会長

令和7年度 研修受講状況

(単位：人)

No.	研修会名	定員	申込者数	受講者数	修了者数	非会員 (再掲)
A アカウンタビリティ						
1	看護実践と倫理 ―看護職の倫理綱領と看護業務基準	30	25	25	25	1
B 倫理実践						
2	臨床倫理のススメ ～立ち止まり、選択を意識し、物語を紡ぐ～	50	65	64	64	0
C 法的実践						
3	個人情報適切に取り扱うために～あらためて自分の行動を確認してみませんか？～	30	40	37	37	1
D ニーズをとらえる力						
－	ケアの受け手の全体像把握のためのアセスメントの統合【JNAオンデマンド研修106】	－	－	－	－	－
E ケアする力						
4	がん看護実践に強い看護師育成研修（ELNEC-J研修を終えた看護師対象）	10	11	12 （うち1名は昨年修了に至らず）	12	0
5	循環のアセスメント＝病院向け・初級編＝	100	189	159	159	6
6	認知症高齢者の看護実践に必要な知識【診療報酬加算対象研修】eラーニング利用	100	115	113	112	6
7	救急看護 在宅・高齢者施設におけるファーストエイド＝在宅・高齢者施設向け＝	50	57	53	53	10
8	症状に合わせた救急看護＝病院向け・中級編＝	50	145	127	127	5
9	糖尿病重症化予防(フットケア)【診療報酬加算対象研修】	30	38	30	30	1
10	脳卒中看護の不安が自信に変わる！～基礎を学び明日からの現場に活かそう～	100	116	91	91	5
11	がん看護を学ぼう	100	96	73	73	0
12	慢性腎不全看護	60	119	104	104	5
13	実践に活かす糖尿病看護	100	117	99	99	5
38	外来における在宅療養支援能力向上のための研修 eラーニング利用	30	31	31	31	3
200	看護職員認知症対応力向上研修 [岐阜会場]【診療報酬加算対象研修】(リーダー研修)	50	52	52	52	2
201	看護職員認知症対応力向上研修 [中濃会場]【診療報酬加算対象研修】(リーダー研修)	50	36	36	35	4
202	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修①	30	40	37	36	25
203	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修②	30	30	29	29	19
204	病院勤務以外の看護師等認知症対応力向上研修③	30	29	28	28	19
205	地域在宅退院支援担当者研修	60	63	61	61	14
300	重症心身障がい児者看護人材育成研修	30	36	34	33	－
301	重症心身障がい児者看護人材育成研修(フォローアップ研修)摂食・嚥下講習会	30	25	25	25	－
302	重症心身障がい児者看護人材育成研修(フォローアップ研修)呼吸管理講習会	30	26	26	26	－
303	教育機関等における医療的ケア児看護人材育成研修	20	34	31	26	－
304	小児在宅支援者研修	50	38	31	31	－
400	訪問看護師養成講習会	25	28	27 （うち1名は昨年未修了者 部分履修）	27	－
401	看護職員再就業支援研修	各10	78	54	54	－
	看護職員再就業支援研修（中濃地区）	10	8	6	6	－
	看護職員再就業支援研修（東濃地区）	10	7	5	5	－

No.	研修会名	定員	申込者数	受講者数	修了者数	非会員 (再掲)
500	訪問看護実践研修	20	14	14	13	2
501	訪問看護師病院等研修	10	11	11	7	7
F 意思決定を支える力						
14	エンド・オブ・ライフケア ～在宅で療養し、最期まで過ごすための支援を考える～	60	79	76	76	6
G 協働する力						
15	【看護管理者研修】看護のためのファシリテーション	60	51	51	51	2
H 業務の委譲/移譲と管理監督						
16	看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 【診療報酬加算対象研修】e-ラーニング利用	100	95	94	93	2
100	看護補助者標準研修【診療報酬加算対象研修】	30	40	40	40	0
I 安全な環境の整備						
17	【看護管理者研修】看護管理者に必要な災害対策	50	43	42	42	0
18	エビデンスに基づいた感染予防対策＝病院向け＝	100	101	92	92	7
19	エビデンスに基づいた感染予防対策＝病院向け＝演習	30	16	16	16	0
101	災害支援ナース養成研修①	50	72	72	69	0
102	災害看護研修～有事に備え自施設の受援体制を整えよう～	30	54	53	53	5
103	災害支援ナース養成研修②	50	63	63	63	0
104	災害支援ナースフォローアップ研修 ※災害支援ナース更新対象研修ではありません	50	22	22	22	0
105	【日本看護協会主催】医療安全管理者養成研修（集合研修）	50	38	38	36	0
J 組織の一員としての役割発揮						
20	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	80	91	91	90	2
21	専門職としての第一歩！①	120	116	116	116	*
22	専門職としての第一歩！②	120	117	115	115	*
23	専門職としての第一歩！③	120	117	116	116	*
24	専門職としての第一歩！④	120	95	92	92	*
25	専門職としての第一歩！⑤	120	104	102	101	*
26	【専門職としての第一歩！参加者対象】フォローアップ研修①～2年目に向けて～	200	49	47	47	15
27	【専門職としての第一歩！参加者対象】フォローアップ研修②～2年目に向けて～	200	21	21	21	3
28	新人看護職教育に役立つコミュニケーション～新人看護職の職場適応力アップを目指す！ 【教員養成公開講座】	60	37	37	37	0
29	活気ある看護組織を作るマネジメント～PDPを使った管理者の組織学習 一般コース～	60	48	47	47	0
30	認定看護管理者教育課程セカンドレベルフォローアップ研修	-	39	39	39	0
206	新人看護職員教育事業 多施設合同研修	40	20	20	17	7
K 看護の専門性の強化と社会貢献						
31	【看護管理者研修】 岐阜県の看護政策/岐阜県看護協会の取り組み	30	57	55	55	0
106	特定行為研修・NPコース修了者の総会・交流会	80	48	48	45	0
107	看護管理者のための特定行為研修・NPコース修了者の活用研修	30	25	20	20	2
600	第14回 岐阜看護学会（会場参加）	200	225	217	217	4

No.	研修会名	定員	申込者数	受講者数	修了者数	非会員 (再掲)
L 看護実践の質の改善						
32	【看護管理者研修】DX導入に向けた具体的な取り組みのヒントを得る	30	29	29	29	0
207	専任教員養成講習会	30	14	14	14	12
208	新人看護職員教育事業 教育担当者研修	80	56	56	56	3
209	特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会	30	24	23	23	10
210	看護人材現任者研修 専任教員 ①	30	20	20	20	6
211	看護人材現任者研修 専任教員 ②	30	27	26	26	5
212	看護人材現任者研修 専任教員 ③	30	19	17	16	4
213	看護人材現任者研修 専任教員・実習指導者編	80	68	64	64	4
214	看護人材現任者研修 助産師編 ①	30	16	16	15	4
215	看護人材現任者研修 助産師編 ②	30	12	10	10	2
216	看護人材現任者研修 准看護師編 ①	40	39	36	36	30
217	看護人材現任者研修 准看護師編 ②	40	31	27	27	21
M 生涯学習						
33	組織で行う生涯学習支援を学ぼう【JNAオンデマンド研修142】 (教育担当者・看護師長・小規模病院と施設の代表者対象)	50	43	43	43	2
N 自身のウェルビーイングの向上						
34	【看護管理者メンタルサポート】～生き生きと働くために～	50	48	48	48	0
35	育児休暇中の支援～今の想いを共有しよう～（交流会）	50	5	4	4	1
218	レジリエンスを高めよう【多施設合同研修公開講座】①	60	34	34	34	31
219	メンタルヘルスサポート「上司・同僚とのかかわり方」【多施設合同研修公開講座】②	60	60	57	57	41
220	メンタルヘルスサポート「メンタルヘルスの良好な保ち方」【多施設合同研修公開講座】③	60	55	55	55	37
221	メンタルヘルスサポート「対象者とのかわり方・感情との向き合い方」【多施設合同研修公開講座】④	60	53	52	52	34
222	メンタルヘルスサポート「2年目に向けた気持ちの準備」【多施設合同研修公開講座】⑤	60	40	39	39	15
402	キャリアチェンジ研修（40～50代前後の看護職向け）	50	44	39	39	－
403	キャリアチェンジ研修（定年前後の看護職向け）	30	57	54	54	－
支部	リフレッシュ研修（各支部）	－	－	－	－	－
その他の研修						
36	レポートの「書き方」【ファーストレベル公開講座】	50	39	37	37	0
37	研究倫理講習会 研究倫理審査を受けるために～書類の準備と書き方～	50	36	36	34	1
108	医療安全を担当する看護職 交流・研修会	50	51	51	51	0
職能委員会 研修	四職能合同研修会	80	47	45	45	0
職能委員会 研修	看護師職能委員会Ⅱ研修会	50	22	18	18	0
令和7年度 全研修受講者合計		4,855	4,591	4,316	4,285	458

令和7年度岐阜県ナースセンター事業報告

岐阜県ナースセンターは、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき設置されている。岐阜県から都道府県ナースセンター業務及び機能強化を目的とした事業の委託を受け、以下の業務を行った。

I 岐阜県ナースセンターの運営（本所・多治見支所・西濃サテライト・中濃サテライト・飛騨サテライト）

1 就業相談・無料職業紹介事業

1) 無料職業紹介事業

(1) 求職・求人等相談状況

- ・就業を希望する看護師等に対し、就業を容易にするために相談、求人情報の提供及び就業斡旋等を実施した。

(単位：件)

事業所	求職相談	求人相談	進路相談	その他	計（前年比）
岐 阜 本 所	3885	3741	11	583	8220（-362）
多 治 見 支 所	743	360	2	93	1198（+50）
西濃サテライト	100	23	1	0	124（-32）
中濃サテライト	467	237	0	150	854（-63）
飛騨サテライト	421	232	0	12	665（-91）
計	5616	4593	14	838	11061（-498）

(2) 令和7年度就職者数（就職者居住圏域別）

岐阜	西濃	中濃	東濃	飛騨	県外	合計
252	80	38	45	20	28	463

(3) 求人施設情報

- ・最新の求人施設情報一覧を毎月発行し、求職者への情報提供を実施した。
- ・県内の病院・施設の看護補助者の求人情報、保育所情報を更新し、提供できる資料を作成した。

(4) 求人登録の情報更新

- ・有効期間6か月を超過する求人施設に対して、毎月、メール・FAX・電話で求人内容を調査し、最新の求人情報に更新した。

(5) 新着求人情報のメールでの情報提供

- ・新着求人については、求人施設の地域近隣の求職者を中心に適宜メールで求人情報を提供した。

(6) 就職後6か月以内の離職状況の把握

- ・NCCS紹介就職者の6か月以内の離職状況を確認した。

採用者の 就職期間	常勤 就職者数	常勤 就業中の数	採用後6か月以内 の離職者数 (自己都合)	離職割合
2024.10～2025.9	86	73	13	15.1%

(7) 施設訪問実績

- ・東濃・飛騨圏域への施設訪問を積極的に行い、求職者への情報提供に努めた。

(単位：件)

岐阜本所	多治見支所	西濃サテライト	中濃サテライト	飛騨サテライト	合計
9	7	5	3	6	30

2) ナースセンターコンピュータシステム（NCCS）の運用及び情報分析

(1) 新規求職登録者

① 新規求職登録者就業希望の資格の年次推移

年度	保健師	助産師	看護師	准看護師	看護補助者	計（人）
2021	34	18	902	166	—	1,120
2022	22	17	312	81	—	432
2023	13	8	342	66	—	429
2024	21	9	279	63	10	382
2025	9	5	235	51	11	311

② 年齢

～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	計（人）
59	55	63	79	55	311

③ 希望雇用形態

常勤	非常勤	臨時	未記入	計（人）
185	113	12	1	311

④ 希望勤務形態

こだわらない	交代制	日勤のみ	夜勤のみ	未記入	計（人）
22	25	148	1	115	311

⑤ 求職者居住エリア

岐阜地区	西濃地区	中濃地区	東濃地区	飛騨地区	その他	計（人）
153	73	31	32	18	4	311

(2) 求職・求人登録および就職者数の年次推移（延べ登録者数 単位：人）

区 分	2025	2024	2023	2022	2021	2020
求職登録者数（延べ）	8,057	8,401	8,696	9,157	10,600	5,976
求人者数（延べ）	24,229	22,879	20,726	20,065	17,988	16,845
就職者数（臨時含む）	463	464	557	500	501	415

(3) ナースセンターの登録者への対応

① 登録者

登録2か月後・4か月後・6か月後の電話による聞き取り実態把握と就業支援を行った。

対 象： 1,518 人（延べ人数）

回 答： 661 人（回答率 43.5%）

結 果：

就職活動者数	511 人	77.3%
未活動者数	150 人	22.6%
就業中人数	406 人	61.4%
未就業中人数	285 人	43.1%

② 就職後の現況調べ及び相談

ナースセンター登録の就職者に対して、就職1か月後～6か月後に電話による聞き取り及び職場定着のための相談に応じている。

対 象： 414 人（延べ・臨時救護の就職者等は除く）

回 答： 154 人（回答率 37.15%）

結 果：

就 業 中	130 人	84.4%
退職したいと思っている	3 人	1.9%
退職した	21 人	13.6%

（4）就業に関する個別相談、研修受講案内

（5）ハローワークとの連携

① 管内地区別相談回数と相談者数

地 区	回 数	相談者数
岐 阜 本 所（岐阜・大垣）	24	138
多 治 見 支 所（多治見・恵那・中津川）	36	55
中濃サテライト（関・美濃加茂）	24	64
飛騨サテライト（高山）	20	25
合 計	104	282

② ハローワークの求人情報連携・求職者へのハローワーク求人冊子の提供

③ オンライン相談（日本看護協会・厚生労働省モデル事業）

県内 10 か所のハローワークにタブレット端末を設置し、ハローワークや自宅から Zoom を活用したオンライン相談を行った。 相談者 9 人（ハローワークからの利用は 0 人）

（6）病院・施設の看護補助者採用の求人情報、保育所情報、資料作成提供

看護補助者求人情報	保育所情報
30 施設	85 施設

II 「看護の心」普及事業

1 看護業務のPR

1) 看護業務・ナースセンター事業についての広報活動

（1）ナースセンターチラシ、パンフレット適宜配布

（2）ナースセンターだより発行（年 2 回）

No.85（9 月発行）1,200 部、No.86（3 月発行）1,200 部

2) ナースセンターホームページの運営

求人・求職情報、看護を目指す人への情報提供、事業・講習会案内、ハローワーク相談会など

3) 看護の日企画・運営

2025 年度「看護の日・看護週間」

看護の日岐阜県大会	岐阜会場	5 月 17 日	マーサ 21	マーサスクエア	506 名参加
	飛騨会場	7 月 6 日	飛騨市古川町公民館		272 名参加
				福祉・ボランティアフェスティバルに出展	
	西濃会場	7 月 26 日	イオンモール大垣	太陽の広場	351 名参加
	東濃会場	9 月 20 日	イオンモール土岐	イオンホール	336 名参加
	中濃会場	10 月 18 日	マーゴ	夢広場	345 名参加

2 ふれあい看護体験

1) 中学・高校対象の県内病院の1日看護体験、実施施設、参加者の募集、参加の調整

申し込み 高校 73 校 867 人 (うち県外高校 4 校) 中学校 14 校 32 人
社会人 1 人 延べ 900 人

実 施 開催期間 7 月 18 日～12 月 20 日

県内 39 病院 69 回実施 参加者 703 人(高校生 672 人,中学生 30 人,社会人 1 人)

2) 出前授業 「一緒に話そうー看護の出前授業」

実 施 校 25 校 (高校 15 校、中学校・義務教育学校 8 校、小学校 2 校)

参加者計 827 人 (参加生徒数 750 人 教員等 77 人)

3 ナースセンター事業の周知と県内就業促進

1) 新規採用者へのナースセンターの説明

岐阜県看護協会新人向け研修「専門職としての第一歩」の中でナースセンターの役割をPR

2) 学校訪問による学生等へのナースセンター広報活動

要請訪問数 就職ガイダンス 参加 1 校 学生数 21 人 教員等 2 人 計 23 人

3) 西濃圏域の商業施設に西濃サテライトを移転 (2024 年)

2024 年度来所者 125 名 (10.4 名/月) → 2025 年度来所者 (～1 月) 91 名 (9.1 名/月)

4) 中濃サテライトの移転検討

可児→ラスパ御嵩への移転を検討 10 月～3 月臨時出張相談実施 4 月より移転

関 →マーゴ関への移転を検討 11 月～3 月臨時出張相談実施 4 月より移転

5) 求人施設採用情報の周知

岐阜県内の病院採用情報をガイドブック(web 版)にまとめ、ナースセンターホームページで公開
(74 病院掲載)

周知用チラシを県内看護師養成機関及び近隣県の学生へ配布

6) 看護業務・ナースセンター事業についての広報活動 (再掲)

(1) ナースセンターチラシ、パンフレット適宜配布

(2) ナースセンターだより発行 (年 2 回)

No.85 (9 月発行) 1,200 部、No.86 (3 月発行) 1,200 部

7) ナースセンター活用の推進

LINE を活用した情報発信 新規登録者の増加を目指した

昨年 9 月に公式アカウント取得 令和 7 年度末 配信登録者数 453 人 (+151)

8) ナースセンター相談来所予約サイトの開設

R8.2 月～開始してから STORS 利用者 4 名予約 (1 名キャンセル)

4 進路相談事業

1) 岐阜県看護関係学校養成所ガイドブック”Nurse Hopes”の発行 (2 月発行・3000 部)

県内高校およびハローワーク等に配布

デジタル版をナースセンターホームページで公開

2) 進路説明会

3 月 14 日(土) オンライン開催

参加看護師養成機関 全 16 校 (実質: 参加者希望のあった 13 校) 申込者 24 人

参加者 21 組（高校 1 年生 6 人、高校 2 年生 15 人
保護者（生徒と参加）5 人）

3) ナースセンター・看護の日岐阜県大会における進路相談

4) 県内病院の奨学金情報を収集、資料を作成し看護学生へ提供した
奨学金情報 64 施設

III 訪問看護支援事業

- 1 訪問看護師養成講習会の開催 年 1 回 5 月 30 日～12 月 1 日
講義 6 日間、実習 3 日間（施設等を含む）
受講 26 人＋補講者 1 人・修了者 27 人（看護師 27 人）

IV 届出登録

- 1 届出情報管理
「とどけるん」届出者数 475 人
- 2 看護職員離職時届出の PR
退職者の多い年度末に向けて各病院に届出の案内を郵送、登録未完了者へ電話・メールで登録を促した

V その他

- 1 ナースセンター事業運営委員会
3 月 12 日 13 : 30～15 : 30 開催
- 2 岐阜県看護職員確保対策連絡協議会開催
2 月 18 日 13 : 30～15 : 30 開催
- 3 病院の看護職員確保に関する調査等の実施
 - 1) 病院の看護職員確保定着に関する調査
対象：県内 93 病院、調査期間：令和 7 年 8 月 8 日～9 月 5 日
調査方法：郵送およびメール、回収数：73 施設（回収率 78.5%）
 - 2) 訪問看護ステーションの看護職員確保定着に関する調査
対象：県内 350 訪問看護ステーション、調査期間：令和 7 年 8 月 8 日～9 月 5 日
調査方法：郵送、回収数：178 施設（回収率 50.9%）
- 4 地域に必要な看護職確保推進事業（日本看護協会委託「地域に必要な看護職確保推進事業」参加）
2 次医療圏（中濃圏域）における地域偏在是正に向けた取り組み
地域の医療・学校・職業紹介所・行政の担当者とワーキング会議開催 10 月 2 日・1 月 27 日
- 5 看護補助者の確保・定着推進事業（日本看護協会委託「看護補助者の確保・定着推進事業」参加）
広報活動：タウン誌 県内全域 12 誌に広告掲載
県内ハローワークに看護補助者対象研修の案内チラシ配布
ハローワークと協力し、お仕事セミナー開催（岐阜 2 回・関 2 回・多治見 1 回）
ナースセンターによる看護補助者に向けた研修（オンデマンド） 受講者 37 人
- 6 定年後の看護職が活躍できるような支援
 - 1) 人材システムの構築
「プラチナナース活用システム」55 歳以上の看護職へ Web 登録制度の案内

登録者数 190 人 就職者（臨時雇用も含む）56 人（ナースセンター紹介・イベント救護 56 人）
※自己就職・HW 就職は集計中

2) プラチナナースへの求人情報発信

「60 歳以上歓迎の求人施設情報」の発行 隔月

3) プラチナナース対象セミナー

キャリアチェンジ研修

目 的：40 代と定年前後のキャリアチェンジを考える研修

期 間：11 月 18 日 12 月 16 日

対 象：11 月 18 日 40～50 歳前後の看護職

12 月 16 日 定年 60 歳前後の看護職

実 績：40～50 歳前後の看護職 39 人

定年 60 歳前後の看護職 54 人

4) プラチナナース雇用促進のための研修

「求人施設向けプラチナナース活用促進セミナー」Zoom 10 月 21 日 29 施設（41 人）参加

5) プラチナナース活躍者のメッセージ紹介

ナースセンターホームページ掲載 2 名（4 月 21 日、11 月 21 日インタビュー）

インタビュー記事掲載月のホームページ閲覧数 平均 188 回／月（通常平均閲覧者数 14 回／月）

6 看護職の交流の場の提供

サロン開催 「プラチナナース セミナー&交流会」

10 月 1 日 申込者 13 人 参加者 8 人

7 キャリアチェンジ就職フェア開催

令和 7 年 1 月 29 日 看護協会特別研修室にて開催

参加施設 19 施設 参加求職者 23 名（予約者 23 名 キャンセル 6 名 当日参加 6 名）

参加者就職進捗状況：面接者 6 名 施設見学者 8 名 就職者 4 名 （2026.2.24 現在）

8 ナースセンター・ハローワーク連携事業 オンライン相談モデル事業（日本看護協会委託事業）

相談業務の効率化によるハローワーク・ナースセンターの連携強化を目的とし、オンライン相談を行える体制を作り、岐阜県と愛媛県で試行。

ナースセンター本所および県内ハローワーク 10 か所にタブレット配置

7 月 18 日（受付開始）～3 月 31 日 相談者 9 人 ハローワークのタブレット使用者 0 人

VI その他 岐阜県委託事業

1 看護職員再就業支援研修事業

1) 看護職員再就業支援研修

目 的：長期離職等により不足する最新の看護の知識・技術を学び直すことにより、不安を払拭して再就業できるように研修を実施する

開 催 数：8 回（岐阜地区 6 回、東濃地区 1 回、中濃地区 1 回）

参 加 者：65 人

就 職 者：22 人（就職者：15 人+就業継続：7 人）※面接中 2 名（2026.2.26 現在）

2 看護職員等就業促進研修事業

1) 医療機関等実施研修（看護補助者のみ）

目 的：看護補助者確保を目的として、医療機関等での研修実施及び就業希望者と研修を実施する医療機関のコーディネートを実施

研修期間：3 日以内、1 施設につき原則 3 回まで（研修経費を補助）

実施施設：県内 3 施設

受講者：8 人

就職者：3 人

3) キャリアチェンジ研修（再掲）

目的：40 代と定年前後のキャリアチェンジを考える研修

期間：11 月 18 日 12 月 16 日

対象：11 月 18 日 40～50 歳前後の看護職

12 月 16 日 定年 60 歳前後の看護職

実績：40～50 歳前後の看護職 39 人

定年 60 歳前後の看護職 54 人

令和 7 年度 医療的ケア児支援センター 重症心身障がい在宅支援センターみらい 事業報告

1. サポートデスクの設置

1) 相談窓口について

医療的ケア児在宅支援センター重症心身障がい在宅支援センターみらい（以下みらいという）の相談窓口の開所時間は以下の通りである

本 所 平日 月～金 9：00～16：00

サテライト 飛騨圏域、東濃圏域、西濃圏域

令和 7 年 4 月より人員配置なし看板設置のみ

2) 相談について

(1) 相談件数 別紙 1 参照

令和 7 年度の相談件数（表 1）は延べ 89 件であった。令和 6 年度より職員の入替わりがあり、令和 5 年度の相談件数が 325 件であったが令和 6 年度 147 件、令和 7 年度 89 件と大幅に減少した。令和 6 年度よりこども家庭庁管轄のこども家庭支援センターが各市町村に設置が進められている。

また、こども家庭ソーシャルワーカーといった専門性の高い認定資格が創設されている。このように様々な障がい児者の相談事業やサービス提供事業所、認定資格者が増加していること、市町村の障がい者総合支援推進会議等が機能してきたことなどにより課題解決につながっていると考えられる。相談先が分散されることで相談件数の減少に繋がっているとも考えられる。

(2) ケース会議

ケース会議への出席は令和 5 年度 33 件であったが、令和 6 年度は 14 件へ半減、令和 7 年度は 10 件と減少している。

退院前カンファレンスやケース会議に参加した際に、病院関係者にはケース会議に参加させていただきたい旨を伝えているが、岐阜市、可児市や美濃加茂市などの市町村に限られているのが現状。市町村のケース会議では多職種で定期的に医療的ケア児の把握に努め、サービス利用について検討されているところもあり、みらいが参加しなくてもうまく支援に繋がられている良い傾向であるともいえる。みらいについて広報し、相談できずに孤立してしまう方がないよう今後も継続して広報していく。

また、今年度からアドバイザーを岐阜圏域・飛騨圏域に各 1 名ずつ依頼した。飛騨圏域の 1 件の依頼のみで十分活用ができていない。今後は事例検討会の開催を定期的 to 実施し、相談に対し適切に対応できたか検証していきたい。

(3) その他

令和 6 年度はみらいの名簿に登録されている人が 335 人であったが、住所変更したりお

子さんが亡くなる等して名簿から名前を削除してほしいという連絡が度々あった。現在の名簿登録者数は276名と59名減っている。支援が必要な方が埋もれてしまわないように家族交流会等の機会に名簿への登録やLINEでのお友だち登録を促したい。また、NICUのある病院に出向きみらいを紹介してもらえるよう働きかけていくことが必要であるとする。

チラシ・機関紙の送付方法については検討が必要であり、ホームページやLINEの活用により必要な情報をより早くに提供できるよう努めていく。

2. ネットワーク作り

1) 家族交流会について

令和7年度は集合形式の交流会を実施した。開催時間は11時から15時として、会場内で昼食をとりながらお子さまに喜んでいただけるイベントや親御さんに日頃のストレスを発散していただけるような内容を計画した。岐阜6月、飛騨5月、東濃9月、中濃10月、西濃11月とし、みらいの名簿に登録のある家族に案内チラシを送付した。

参加者については平均28.6人でうち家族大人が9.4人子ども7人であった。会場によっては借用許可が1か月前に確定するところもあり案内が直前になってしまったことで参加者が少なくなってしまうとも考えられる。5圏域全体の年間計画を年度当初にお知らせし、予定を立てやすく参加してもらえる環境づくりをしていく。

また、地域によっては家族会の活動が活発なところもあり、家族会が主催する研修会やイベントなどに参加することでみらいが主催する家族交流会に魅力を感じない方もいるとも考えられる。家族会に入会されていない方こそ、相談を誰にしたらよいかわからず孤立しやすい。このような方たちに来ていただけるよう広くホームページや機関紙などを活用していく。

2) 広報に関する事

(1)機関誌

第21号を令和7年8月に第22号を令和8年1月に発行した。(各1,500部)

第21号は1090部、第22号は1180部を配布した。

事業所や行政担当、みらいの名簿登録者へ郵送したほか、看護人材育成研修の受講生や会議等に参加した方に配布し、みらいの活動を知っていただくために役立てることができた。

内容については家族交流会や研修会の報告、研修会案内のほかに防災に関する記事を連載することとした。防災意識を高めてもらえるよう岐阜県が作成している地域でくらすかけはしノート、災害時電源確保ガイドブックなども紹介できた。

(2)ホームページ

令和7年度はホームページのリニューアルを行った。事業所や相談窓口の検索機能の充実を図り、お問い合わせフォームから相談していただきやすい工夫をした。今後も情報を随時更新し、魅力ある活用しやすいホームページ作りを心がけていく。閲覧者数のモニタリング

等も参考に評価していく。

3. 人材育成

1) 教育機関等における医療的ケア児看護人材育成研修

教育機関等における看護師の役割を理解し医療的ケア児の看護に必要な知識・技術を習得することを目的に令和5年度より開始して今年度3回目の開催となった。前年度と内容は変更せず、4日間24時間のうち2日間のオンラインによる講義、2日間の集合研修、（うち1日は吸引や人工呼吸器の操作に関する演習、もう1日はグループに分かれ話し合うグループワーク）を実施した。

今年度も募集定員20名を超えての応募があったことから、県から承諾を得て、応募者34名全員の受講を許可した。体調不良等で全時間修了できない者がおり、修了証の交付は26名となった。就業中の受講生については知識の更新や新しい情報の確認、他施設に従事している人との意見交換などを行える場を提供できた。

2) 小児在宅支援者研修会

今年度は「みんなで考えよう！障がいのあるお子さんの命を守る今できる備え」と題し以下のとおり開催した。

① 日時 令和8年2月11日（祝・水）13:30～15:45

② 対象 小児在宅支援に関わる多職種

③ 内容 「みんなで考えよう！障がいのあるお子さんの命を守る今できる備え」

講師：愛知医科大学地域・在宅看護部教授 佐々木裕子 氏

清流の国ぎふ 女性防災士会会長 伊藤三枝子 氏

集合研修13名、ZOOM配信18名の参加があり5圏域からの参加があった。

3) 出前講習

実施しなかった。

4. その他

1) 会議などの出席状況

開催日	会議名	開催場所
令和7年5月22日	重症心身障がい児者医療的ケア児者支援検討委員会	可児市役所
令和7年7月24日	岐阜県重症心身障がい児者ネットワーク協議会	ZOOM
令和7年10月2日	令和7年度医療的ケア運営協議会 特別支援教育課主催	ZOOM
令和7年10月8日	各務原市障がい者地域支援協議会 各務原市障がい者地域支援協議会主催	各務原市役所

令和 7 年 11 月 6 日	長良特別支援学校運営協議会（第 2 回）	長良特別支援学校
令和 7 年 12 月 9 日	岐阜市障がい者総合支援協議会専門部会 岐阜市障がい者総合支援協議会	岐阜市役所
令和 7 年 11 月 27 日	可児市令和 7 年度重症心身障がい児者、医ケア児者支援検討会議	可児市役所
令和 8 年 1 月 16 日	可児市障がい者地域生活支援推進協議会	可児市役所
令和 8 年 1 月 21 日	令和 7 年度医療的ケア運営協議会 特別支援教育課主催	ZOOM
令和 8 年 1 月 21 日	令和 7 年度東濃圏域障がい者総合支援推進会議 療育・医療的ケア部会	東濃西部県事務所
令和 8 年 1 月 22 日	可児市令和 7 年度重症心身障がい児者、医ケア児者支援検討会議	可児市役所
令和 8 年 2 月 3 日	長良特別支援学校運営協議会（第 3 回）	ZOOM
令和 8 年 2 月 3 日	令和 7 年度障がい児入所施設移行調整部会 医療福祉連携推進課・障がい福祉課	書面会議
令和 8 年 2 月 19 日	岐阜県重症心身障がい児者ネットワーク協議会	ZOOM
令和 8 年 2 月 24 日	要電源障がい児災害時等支援ネットワーク協議会	ZOOM
令和 8 年 3 月 10 日	医療的ケア児者支援法骨子案報告会	
令和 7 年 5 月 26 日、 7 月 22 日、10 月 8 日 12 月 16 日、令和 8 年 3 月 24 日	岐阜県医療福祉連携推進課との連絡会議	岐阜県看護協会
令和 7 年 5 月 30 日、 7 月 25 日、9 月 26 日 11 月 28 日令和 8 年 1 月 23 日、3 月 27 日 (奇数月開催第 4 週)	岐阜大学小児在宅医療教育支援センター ケースカンファレンス	ZOOM

5. 今後の課題

令和 7 年度、飛騨・東濃・中濃に設置していたサテライトを閉鎖し、全て本所で対応することとした。みらいの相談機能をより充実していくためには個々の職員のスキルアップが必要と考え、岐阜県主催の医療的ケア児等コーディネーター養成研修を受講し、職員全員が研修を修了した。今後も継続的な研修受講や事例検討を通して専門知識を身に付け、スキルアップを図る必要がある。また、相談件数の減少については、その要因を分析し、みらいの活用にかかる認知度の向上や利用しやすい環境整備が必要である。そのためには広報活動の強化や地域イベントでの啓発を進めることも有効と考える。

市町村とは引き続き定期的な意見交換を行い、課題の把握に努めることで、速やかに対象

者のニーズに沿った効果的な支援が提供できるのではないかと考える。

令和8年度、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」の改正が見込まれており、主な改正点として、対象者に18歳以上の医療的ケア者を含むこと、医療的ケア児等在宅支援センターの機能に生涯学習支援、就労支援、防災業務、災害時市町村との情報共有が新たに追加される。みらいの役割やあり方について県と協議しながら検討していく必要がある。

令和7年度岐阜県看護協会訪問看護総合支援センター事業報告

岐阜県看護協会訪問看護総合支援センターは、関係団体と連携しながら、訪問看護に係る様々な課題を共有し、一体的・一元的に解決できるよう取り組み、訪問看護提供体制の安定・推進を図り、「人材確保」・「訪問看護の質の向上」「経営支援」・「地域での連携強化」の4つの目的を持って活動している。

I. 人材確保に関すること

1. 訪問看護体験型研修

目 的： 訪問看護の実際の看護実践を体験することで、訪問看護への理解を深め、その魅力や役割について理解を深める。

- ・看護学生：訪問看護というキャリアへの関心を高め、将来の進路選択につなげる。
- ・看護教員：教育内容をより現場に即したものとし、学生のキャリア形成支援につなげる。

1) 看護学生

対 象： 岐阜県内の看護師基礎教育機関に通学する看護学生

実施期間： 令和7年8月1日～9月30日の内で1日

実施内容： 訪問看護に同行し見学・体験をする。地域会議などへの参加・多職種連携の実際を見学。訪問看護師との交流（働き方について、仕事の内容等）。

参 加 者： 13人

事業実施結果：

- ・看護学生では、「新卒で訪問看護師になれると思うか」という問いに対し、「支援があればになれると思う」と回答した学生が8人（66.7%）みられ、訪問看護を将来のキャリアの選択肢として捉える学生もいることがうかがえた。参加者の多くは実習前の1～2年生であり、訪問看護の実践を体験することで、在宅における看護の役割や利用者・家族との関わり方への理解が深まった。自由記載からも「在宅ならではのコミュニケーションを学べた」「自分のやりたい看護を考えるきっかけとなった」などの意見がみられ、学生が自身の進路や看護観を考える機会となった。

2) 看護教員

対 象： 岐阜県内の看護師基礎教育機関に勤務する看護教員

実 施 日： 令和7年8月7日（木）

実施内容： オリエンテーション（訪問看護の概要）、同行訪問、体験を通しての意見交換など

事業実施結果：

- ・看護教員では、訪問看護の現場を直接体験することで、在宅における看護の役割や利

用者・家族の生活を支える看護の実際について理解を深める機会となった。参加者は 2 人と少数ではあったが、「訪問看護の実際を体験することで、在宅看護の役割や特徴を理解することができた」「学生が在宅看護の実際を知る機会の必要性を改めて感じた」といった意見がみられ、訪問看護の実践を踏まえた教育の重要性を再認識する機会となった。また、学生が訪問看護を進路の選択肢として考えるためには、教育機関と訪問看護現場が連携し、学生が在宅看護の実際に触れる機会を持つことの重要性が改めて認識された。今後は、本研修の意義について教育機関への周知を図り、参加の促進につなげていく必要がある。

2. 看護学生・新卒訪問看護師交流会

目 的：新卒訪問看護師との交流を通して、看護学生が訪問看護のやりがいや実際の働き方を知り、将来のキャリアの一つとして訪問看護をより身近に感じることができる。

対 象：岐阜県内の看護師基礎教育機関に通学する看護学生

開催日時：令和 7 年 8 月 18 日（月）13：30～16：00

講 師：2 人

- ・新卒で訪問看護に就職し現在 2 年目の訪問看護師
- ・新卒訪問看護師としての経験を生かして活動している看護師

参 加 者：4 人

事業実施結果：

- ・新卒で訪問看護に就職し現在 2 年目の訪問看護師と、訪問看護師としての経験を生かして活動している看護師との交流を通して、訪問看護の実際の働き方ややりがいについて理解を深める機会となった。自由記載からは「新卒で訪問看護に就職した実際の経験を聞くことができた」「訪問看護の現場で働く姿を具体的にイメージすることができた」といった意見がみられた。
- ・訪問看護師としての経験を生かしたキャリアについての話から、「訪問看護には様々な働き方やキャリアの可能性があることを知ることができた」といった声もみられ、訪問看護の魅力やキャリアの広がりについて理解を深める機会となった。
- ・本交流会は今年で 2 年目の取り組みであり、参加者は 1 年目 2 人、2 年目 4 人と多くはないものの、訪問看護に関心を持つ学生が実際の経験を聞き、将来の進路について考える機会となっている。今後も学生が訪問看護の実際やキャリアについて知る機会として、継続的に実施していくことが重要である。

3. 訪問看護事業所向け研修

目 的：「人が育つ職場をどうつくるか」を共に考える。

新人を育て、中堅を支え、チーム全体が学び合いながら成長するために、一人ひとりの関わり方や職場の環境づくりを見つめ直し、学び合い支え合う職場づ

くりに取り組むきっかけとする。

開催日時： 令和 8 年 1 月 24 日（土） 13：30～16：00

対 象： 岐阜県内訪問看護事業所に従事している看護職

テ ー マ： 新人も中堅も育つ職場へ — 訪問看護の“人が育つ力”を高める—

参 加 者： 20 人

事業実施結果：

- ・参加者は管理者のほかにスタッフも 40%と多く受講した。組織のつくり方や在り方、人が育つ職場をどうつくるかなど、様々な視点からの内容であった。
- ・アンケートより「事業所の理念や経営、管理の方向性の確認ができた」「採用の視点を変えることで気が楽になった」などの意見があり職員確保に対する意識の変化や学びに繋がったと考える。
- ・参加希望の受講動機の中にテーマの「新人も中堅も育つ職場へ」に関心がみられた。参加希望者も多く「人が育つ」ことに関心があると考え

4. 新任訪問看護師研修

目 的： 訪問看護師として勤務を開始して間もない看護職が現場で感じる不安や疑問を仲間と共有しながら、訪問看護に必要な判断力・対応力・連携力を育む。

対 象： 岐阜県内の訪問看護事業所に勤務し、訪問看護師として実務経験 3 年未満の看護職

実施期間： 令和 7 年 12 月 18 日～令和 8 年 3 月 23 日

実施内容： オンデマンド学習 6 項目、講義・演習 4 日間

受 講 者： 10 人

事業実施結果：

- ・今年度、新任訪問看護師研修を人材確保・定着に向け試行的に開催した。募集開始後早期に定員に達し、関心の高さがうかがえた。オンデマンドと集合研修で構成され、演習やグループワークを取り入れ仲間づくりも行った。
- ・アンケート結果では、すべての研修において「実践に活かせる」と回答があった。また、「オンデマンド学習を予習として行うことで集合研修の理解がしやすかった」「演習や体験がありわかりやすかった」など研修方法も良い評価が得られた。
- ・新任訪問看護師の不安軽減と早期離職防止、人材育成を目的とする当研修は、知識習得と仲間づくりができ、不安の多い新任訪問看護師にとっては有意義な研修である。

5. 訪問看護事業所向け指導者研修

目 的： 管理者や指導者が判断に迷いやすいカスタマーハラスメント対応の場面を入りに、日常の指導や看護実践、組織としての判断や在り方を整理し、指導者が自信をもって現場に関われる体制づくりにつなげる。

対 象： 岐阜県内の訪問看護事業所に従事する看護職

実施内容： 第1回 管理者・指導者は、なぜ判断に迷うのか～カスタマーハラスメント対応の現場から見えてくる現場の課題～

第2回 指導・看護実践・組織対応をどうつなげていくか～管理者・指導者が現場を支え続けるために～

開催日時： 第1回 令和8年2月20日（金）14：00～16：00

第2回 令和8年3月17日（火）14：00～16：00

受講者： 第1回 19人 第2回 16人

事業実施結果：

- ・2回シリーズで構成し、全2回の受講を推奨した。参加者のうち88%が2回受講している。
- ・1回目の受講アンケートより、参加者の84%が「研修テーマに興味関心があった」「勉強したかった」と回答し、興味あるテーマといえる。内容については、より実践的な学びや関わりを期待されている回答があったため講師とアンケート結果を共有し後期の研修に活かすことができた。
- ・ハラスメントは事業所において身近なテーマである。対応について学ぶ事で人材確保につながるため管理者や指導者において必要な研修であった。

6. 中濃圏域における訪問看護の人材確保・定着および空白地域対応に関する意見交換

目的：中濃圏域における訪問看護の人材確保・定着および空白地域への対応に向け、訪問看護ステーション管理者等と現状や課題を共有し、今後の支援の方向性を検討する。

実施内容：これまで実施してきた空白地域に関するアンケート調査や行政ヒアリングの結果を踏まえ、中濃圏域における訪問看護の人材確保・定着および空白地域への対応に向け、訪問看護ステーション管理者等との意見交換を実施した。

第1回は、中濃圏域における訪問看護の現状（事業所数、人材状況、地域偏在等）について資料を用いて共有した後、各訪問看護ステーションの現状や課題について意見交換を行った。

第2回は、第1回で共有された課題を踏まえ、人材確保・定着や空白地域への対応など、今後の支援の方向性について意見交換を行った。

開催状況は以下のとおりである。

地区	第1回		第2回	
	開催日	出席者	開催日	出席者
可茂地区	令和7年11月20日（木）	12名	令和8年3月13日（金）	11名
関地区	令和7年11月21日（金）	7名	令和8年3月19日（木）	4名
郡上地区	令和7年11月25日（火）	2名	令和8年3月18日（水）	3名

事業実施結果：

- ・中濃圏域の訪問看護においては、人材確保・定着の難しさ、小規模事業所が多いことによる体制面の課題、広域・山間地域における移動負担など、複数の課題が明らかとなっ

た。

- ・人材確保の状況は地域によって差がみられ、採用後の定着が課題となっている地域や、応募が少なく人材確保自体が困難な地域など、地域特性に応じた課題があることが確認された。
- ・訪問看護ステーションは小規模事業所が多く、人材育成や 24 時間対応等を各事業所単独で担うことには限界があり、事業所間の連携や支援体制の必要性が共有された。
- ・これらの課題は相互に関連しており、中濃圏域における訪問看護提供体制の維持・強化に向けた複数の課題が重なり合っていることが明らかとなった。
- ・空白地域調査や行政ヒアリングを踏まえた本意見交換により、現場の視点から中濃圏域の課題を整理するとともに、今後の支援の方向性を検討するうえで有意義な機会となった。
- ・本意見交換により把握された課題や支援ニーズを踏まえ、次年度も重点事業として継続し、小規模事業所における人材確保・定着に向けた課題整理および支援方策の検討を進めるとともに、関係機関との連携のもと、中濃圏域におけるモデル的な取組を通じて、今後の具体的な支援につなげていく。

II. 訪問看護の質の向上に関すること

1. 訪問看護実践研修

目 的： 病院および診療所に勤務する看護職が、地域の訪問看護ステーションに於いて、同行訪問等をとおして訪問看護の実際を学び、在宅療養支援能力の向上及び病院と訪問看護ステーションの連携強化を図る。

対 象： 岐阜県内の病院および診療所に勤務する看護職員、経験年数が 3 年以上で在宅移行支援に興味がある者

実施期間： 令和 7 年 9 月 25 日～令和 8 年 2 月 5 日

実施内容： 講義・演習 4 日間・臨地実習 3 日間

受 講 者： 14 人（修了者 13 人）

事業実施結果：

- ・4 日間の講義では、多職種の講師から地域包括ケアシステムにおけるそれぞれの役割・機能について学んだ。臨地実習では、訪問看護師に同行することにより、在宅療養のイメージが強化でき、退院後の生活を見据えた支援を行う重要性が再認識できた。
- ・研修アンケートから、研修の満足度「非常に満足・満足」、新たな知識の習得や自己の成長を感じたか「十分感じた・感じた」が、ともに 100%であった。学んだことを看護実践で活かすことができたかは、「あった」が 11 人（84.6%）であった。研修を通して、自己の成長や視野の広がりを感じ、在宅を意識した看護実践へと変化している。「自分自身の看護観を根底から見つめ直す極めて有意義な機会だった」との意見もあり、在宅療養支援・多職種連携・退院支援に必要な視点を深める機会となった。
- ・研修満足度は高いものの、年々受講生の参加数は減少している。（令和 6 年度 18 人、令

和7年度14人) 今後、実施方法や対象などの検討が必要である。

2. 訪問看護師病院等研修

目的：訪問看護師が病院等にて退院調整などの現場を学ぶ研修を行い、訪問看護師の看護技術の向上及び看護師間の連携強化を図ること。研修を修了した訪問看護師は、自施設において研修内容の共有を行う

対象：岐阜県内の訪問看護事業所に従事する訪問看護経験3年以上の看護職

実施期間：令和7年10月8日～令和8年2月5日

実施内容：講義・演習3回・臨地実習1回

受講者：11人（修了者7人）

事業実施結果：

- ・講義・演習は、昨年度が好評であり同様の内容とした。臨地実習は、病院で行われている退院調整の流れや最新の看護実践を見学した。そして、その学びを自施設で共有することを実施した。演習は、講師の実演と指導を間近で受け、積極的な質問が交わされ、受講生の交流も深まる場となった。実習は、多職種連携の重要性をより深く学ぶ機会となり、自施設の共有は、自身が伝えることによる振り返りができ、さらに職場全体の質の向上や看護技術の統一となった。
- ・アンケート結果から、満足度「非常に満足・満足」、新たな知識の習得や自己の成長を感じた「十分感じた・感じた」では、ともに全て100%であった。「課題や改善点を確認する良い機会」「自信につながった」「他のスタッフを是非参加させたい」などの意見があった。学んだことを看護実践で活かすことができたかは、「あった」100%と、学びが実践活用へ確実につながっていた。
- ・「知識のアップデートは安全で質の高い看護の提供に不可欠」「継続した研修参加の必要性を感じた」との意見から、生涯学習を能動的に学ぶ必要性を感じ取ることができた意義のある研修であると考えた。

3. 訪問看護に関わる介護・医療報酬研修

目的：訪問看護に関わる介護・医療報酬制度の基本および最新動向を整理し、管理者・事務担当・看護師等がそれぞれの立場で押さえておくべき実務上の留意点を共有することにより、制度の正しい理解を促進し、現場での判断力および記録・請求の精度向上を図ることを目的とする

対象：岐阜県内の訪問看護ステーションで勤務する看護職員・事務担当者等

実施内容：これだけは押さえて！訪問看護に関わる介護・医療報酬の基本と最新動向～管理者・事務担当・看護師等がそれぞれ押さえるべきポイントを整理～

開催日時：令和7年12月6日（土）13：00～16：00

受講者：51人

事業実施結果：

- ・令和 6 年に報酬改定があり昨年度も管理者研修として介護・診療報酬に関する研修を行っているが、令和 8 年度にも報酬改定があるため関心が高く受講希望者が多かった。参加者は管理者が 64%と経営者や事務担当者が 30%をしめた。
- ・アンケート結果から「研修内容が分かりやすく制度の理解が深まった」「要件が満たせそうな加算が再確認できた」などの意見があり全員が看護実践に活かすことができると回答した。研修を通して制度の理解ができ、現場での質向上に繋がったと考える。
- ・研修時間に対して、「質疑応答の時間が欲しかった」という回答があり、限られた時間の中での講義内容の検討や研修の分散など方法を検討していく必要がある。

Ⅲ. 経営支援に関すること

1. 訪問看護事業所運営支援研修

目 的： 岐阜県内における訪問看護の提供体制を維持・強化し、特に小規模事業所で顕在化している経営や運営に関する課題の解決に向けて、学びや相談の機会を提供することを目的とする。

1) 第 1 回 人材に関すること

テ ー マ： 人が集まり、定着する訪問看護ステーションのつくり方 ～小規模事業所でもできる採用・広報・組織づくり～

開催日時： 令和 8 年 1 月 27 日（火） 14：00～16：00

開催方法： オンライン開催

受 講 者： 10 人

2) 第 2 回 経営に関すること

テ ー マ： 小規模訪問看護ステーションの経営を安定させる“数字の見える化”
～知っておきたいお金の仕組みと、ムリのない運営づくり～

開催日時： 令和 8 年 2 月 8 日（日） 14：00～16：00

開催方法： オンライン開催

受 講 者： 9 人

事業実施結果：

- ・小規模事業所に向けた運営支援として「人材」と「経営」に分けて 2 回の研修を行い、管理者のほか経営者や事務職の参加があった。定員は 20 人であったが、参加者は 9 人にとどまり、人材や経営に関する課題の捉え方や優先度には事業所ごとの差があることがうかがえた。なお、無料相談会については当センターを通じた申し込みはなく、実施には至らなかった。
- ・「人材」では事業所の理念に合った人材を確保する重要性、「経営」の研修の中で経営に関する数字を可視化する重要性などについて学び、事業所の運営について考える機会となった。
- ・本研修は、参加者は多くはないが、「人材」「経営」に関する分野は、事業運営の安定化および質の向上には重要な要素となる。今後も定期的な開催を行い、学びや相談の機会

を提供していく必要があると考える。

2. 相談窓口の運営

目 的：岐阜県内における訪問看護体制の強化を図るため、訪問看護に関わる相談に対応し、事業所の運営支援および課題解決につなげることを目的とする。

対 象：訪問看護事業所従事者、開設予定者、保健・医療・福祉関係者、行政機関、看護関係教育者・看護学生、利用者・家族等

実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

実施内容：電話（平日10時～16時）、ホームページ内問い合わせフォーム（24時間対応）
来所による相談に対応し、相談内容に応じて関係機関と連携しながら助言・情報提供を行った。

事業実施結果：

- ・相談者数は160人、相談件数は187件であった。相談者は訪問看護管理者が最も多く、次いで事務職、看護スタッフ等であり、事業所運営に関わる立場からの相談が中心であった。
- ・相談内容は、法令・制度や医療・介護報酬に関するものが多く、制度理解や運営に関する支援ニーズの高さがうかがえた。特に、制度改正や報酬体系への対応に関する相談が多く、管理者や事務担当者に対する継続的な支援の必要性が示唆された。
- ・精神科訪問看護や施設内訪問看護に関する相談もみられ、分野別のニーズの広がりが認められた。
- ・相談方法は電話が中心であったが、問い合わせフォームの利用もみられ、相談手段の多様化に対応している状況であった。
- ・相談対応にあたっては、書籍や関係通知等に基づき助言を行うとともに、必要に応じて関係機関への照会や紹介を行うなど、適切な対応を図った。
- ・相談内容を通じて、訪問看護事業所における制度理解の向上や運営支援に関する課題が把握されており、今後の研修企画や事業所支援に反映していく必要がある。

IV. 地域での連携強化に関すること

1. 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会との情報共有の会

開催日時：令和7年8月6日（水） 10:00～11:30

開催方法：ハイブリッド開催

議 題:1) 令和7年度事業報告について

2) 今後の会議の進め方・あり方について意見交換

- ・地域における訪問看護提供体制のあり方やその整備に向け、岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会と岐阜県看護協会訪問看護総合支援センターとの連携は重要である。今後も、年に1～2回程度の開催を行い、互いの役割等を認識しながら、岐阜県内の訪問看護提供体制の構築を図っていく必要がある。

令和 7 年度 訪問看護・居宅介護支援・療養通所介護事業の報告

1. 社会背景、事業所の概況

業務効率化・生産性向上の取り組みとして、データ連携システムの導入に向け、3 事業所で委員会を立ち上げ、会議とシミュレーションを繰り返し 9 月より運用を開始することが出来た。また、人材不足が飛騨地域内の多くの事業所で大きな問題になった年でもあった。しかし、当法人は事業運営・人材確保について適切に対応することで、優秀な人材を適宜採用することが出来た。

2. 訪問看護事業

新規依頼については、原則すべて受け入れて対応している。しかし新規利用者数は、昨年と比べ 123 名減少。開始後すぐに終了する在宅看取りケースや、状態が不安定で入院終了となる新規利用者が多く、延べ訪問件数が伸び悩んでいる状況が見られた。入れ替わりの回転は速くとも、丁寧な看護を提供することを心掛けている。

地域支援事業として、高山市・飛騨市・下呂市において行政や地域の事業所に協賛して、まちの保健室活動を実施することができた。

令和 7 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延訪問件数	高 山	1,329	1,285	1,357	1,453	1,370	1,415	1,766	1,338	1,383	1,259	1,207	1,347	16,509
	下 呂	348	333	337	350	321	342	350	297	335	318	302	373	4,006
	古 川	827	806	757	844	762	852	879	782	827	790	751	775	9,652
	計	2,504	2,424	2,451	2,647	2,453	2,609	2,995	2,417	2,545	2,367	2,260	2,495	30,167
	6 年度計	2,596	2,637	2,548	2,855	2,764	2,611	2,871	2,542	2,589	2,417	2,285	2,455	31,170
実利用者数	高 山	273	284	288	295	291	286	293	296	305	297	290	284	3,482
	下 呂	66	65	66	64	61	65	66	63	66	61	62	63	768
	古 川	173	170	167	170	161	176	172	177	184	175	176	171	2,072
	計	512	519	521	529	513	527	531	536	555	533	528	518	6,322
	6 年度計	529	540	542	561	554	558	550	539	528	516	521	517	6,455

3. 居宅介護支援事業

医療依存度の高いケース、在宅看取りケースなどを中心に新規依頼を受けている。高山市内・飛騨市内の病院、地域包括支援センターからの依頼ケースが多い。特に病院を退院して在宅看取り時は、訪問診療専門クリニックと連携するケースが多い。

令和 7 年度もターミナルケア加算を 15 人算定することで、令和 8 年度の医療介護連携加算(125 単位)を、要介護認定ケースに対して毎月算定可能になった。

今後は在宅看取りケースを滞りなく受けつつ、地域から求められる多様なケースに応じられるよう柔軟にケアマネジメントを行っていきたい。

令和 7 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
利用者数	高 山	143	141	147	144	141	139	144	150	148	143	141	146	1,727
	6 年度計	168	156	151	161	153	153	160	155	154	146	138	147	1,842

4. 療養通所介護事業

療養通所介護、生活介護においては大きな利用者数の変化はなかった。療養通所介護では状態が不安定であったため契約のみで実際の利用に至らないケースがあり、一回の利用で終了してしまったケースが数件あり、継続した利用に繋がらなかった。生活介護では、週に複数回利用していた利用者が終了となったり、病院のレスパイトケア入院を優先利用する利用者があったり、利用回数の減少となった。

放課後等デイサービスでは、2 名が高等部を卒業し生活介護に移行した。

児童発達支援での利用者数が増え、3 月時点で 4 名の利用者となり継続した利用を希望されている。

医療的ケアが必要な重症化した利用者が増えてきている。そのような利用者の受け入れは療養通所介護の特性ととらえ、地域に不可欠な事業であることの自覚をスタッフ全員で共有しながら令和 8 年度も進んでいきたい。

令和 7 年度		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
延利用回数	療養型通所介護	42	40	43	44	41	44	39	35	41	42	43	47	501
	生活介護	59	45	59	52	46	48	55	40	36	30	33	36	539
	児童発達支援	8	6	5	11	12	12	14	12	14	13	13	13	133
	放課後等デイサービス	26	19	27	26	23	23	25	23	23	22	21	24	282
	計	135	110	134	133	122	127	133	110	114	107	110	120	1,455
	6 年度計	135	125	120	139	127	118	132	117	115	114	117	128	1,487
利用者数	療養型通所介護	8	8	8	8	8	8	7	7	7	9	8	8	94
	生活介護	14	14	13	12	11	11	11	11	10	8	9	9	133
	児童発達支援	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	31
	放課後等デイサービス	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
	計	29	29	28	27	26	26	26	26	25	25	25	26	318
	6 年度計	27	27	27	27	28	28	27	25	27	28	29	28	328

5. 訪問看護ステーションにおけるその他の地域支援事業

講演会等

場 所	回 数	主 な 内 容	参加者
高山市朝日町	1	・訪問看護の紹介 在宅療養の実際 ・理学療法士による健康維持・ウォーキング・講話	15 人
下呂市	1	・理学療法士による健康教室	24 人
高山市	2	・理学療法士による公開講座	70 人
特別支援学校	7	・理学療法士訪問・教員指導	21 人
合 計	(11 回)		130 人

健康相談事業、健康維持・予防事業

私のまちの保健室・・・(毎月 1 回 第 1 水曜日)

今年度も、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防のため未開催

6. 今後の課題

- ・事業所全体の看護水準の向上（個人の能力強化と発揮、働きやすい職場環境）
- ・BCP の見直しと運用
- ・私のまちの保健室の運営、開催方法

理 事 会 報 告

I 理事会開催状況

会 場 岐阜県看護協会

回数	開 催 日	時 間	出 席 者		
			理 事		監 事
			出席	欠席	出 席
1	令和7年 5月15日	13:00～14:34	16	1	3
2	令和7年 6月18日	14:30～14:40	17	—	3
3	令和7年 6月26日	10:30～11:00	16	1	2
4	令和7年 9月16日	13:00～14:44	16	1	3
5	令和7年10月23日	13:00～14:50	17	—	3
6	令和7年12月11日	13:00～14:39	17	—	3
7	令和8年 2月 3日	13:00～14:38	16	1	1
8	令和8年 3月26日	13:00～14:51	17	—	3

II 主な議案・協議事項等

第 1 回 令和7年5月15日（木）

決議事項

- 1) 令和6年度会員入会の承認（11名 計12,455名）
- 2) 令和7年度会員入会の承認（85名 計11,215名）
- 3) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山（生活介護）運営規程の一部改正について審議、可決
- 4) 児童福祉法に基づく岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山（指定児童発達支援・放課後等デイサービス）運営規程の一部改正について審議、可決
- 5) 公益社団法人岐阜県看護協会公印規程の一部改正について審議、可決
- 6) 公益社団法人岐阜県看護協会の公印の改刻及び廃止について審議、可決
- 7) 公益社団法人岐阜県看護協会講師等謝金規程の一部改正について審議、可決
- 8) 令和6年度事業報告、事業報告の附属明細書並びに令和6年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書、財産目録の承認について審議、承認
- 9) 令和7年度補正予算について審議、可決
- 10) 令和7年度職能委員及び委員会委員の選任について審議、可決

協議事項

- 1) 令和7年度定時総会等の運営について
- 2) 合同委員会開催について

第 2 回 令和 7 年 6 月 1 8 日（水）

決議事項

- 1) 役員の選定について審議、可決
- 2) 会長代行の優先順位について審議、可決

第 3 回 令和 7 年 6 月 2 6 日（木）

決議事項

- 1) 会員入会の承認（6 8 名 計 1 1, 5 6 2 名）
- 2) 公益社団法人岐阜県看護協会職能委員会規則の一部改正について審議、可決
- 3) 専決処分の承認について審議、承認

第 4 回 令和 7 年 9 月 1 6 日（火）

決議事項

- 1) 会員入会の承認（5 4 6 名 計 1 2, 0 2 0 名）
- 2) 公益社団法人岐阜県看護協会育児・介護休業規程の一部改正について審議、可決
- 3) 専決処分の承認について審議、承認
- 4) 令和 7 年度補正予算について審議、可決
- 5) 令和 7 年度補正予算について審議、可決
- 6) 令和 7 年度委員の辞任による委員選任について審議、可決

協議事項

- 1) 会員の確保について

第 5 回 令和 7 年 1 0 月 2 3 日（木）

決議事項

- 1) 会員入会の承認（6 6 名 計 1 2, 1 5 7 名）
- 2) 公益社団法人岐阜県看護協会 会長表彰規程の一部改正について審議、可決
- 3) 岐阜県ナースセンター多治見支所の物品の岐阜県への寄付について審議、承認

協議事項

- 1) 次年度重点方針・重点事業についての検討

第 6 回 令和 7 年 1 2 月 1 1 日（木）

決議事項

- 1) 会員入会の承認（2 8 名 計 1 2, 1 8 4 名）
- 2) 公益社団法人岐阜県看護協会臨時職員就業規則の一部改正について審議、可決
- 3) 公益社団法人岐阜県看護協会岐阜県看護協会立訪問看護ステーション高山運営規程の一部改正について審議、可決
- 4) 令和 7 年度補正予算について審議、可決

協議事項

- 1) 令和 8 年度重点事業内容について
- 2) 令和 8 年度理事会・四役会・支部長会・合同委員会開催日について

第 7 回 令和 8 年 2 月 3 日（火）

決議事項

- 1) 会員入会の承認（2 5 名 計 1 2, 2 1 8 名）
- 2) 公益社団法人岐阜県看護協会特定費用準備資金等取扱規程の公益充実資金等取扱規程への改定について審議、可決

- 3) 専決処分の承認について審議、承認
- 4) 令和8年度重点方針・重点事業について審議、可決

協議事項

- 1) 令和8年度職員給与の改定について
- 2) 令和8年度臨時職員の給与の主な改正内容について
- 3) 令和8年度岐阜県看護協会長表彰者の選定について

第 8 回 令和8年3月26日（木）

決議事項

- 1) 会員入会の承認（15名 計 12,240名）
- 2) 令和8年度会員入会の承認（83名 計 10,640名）
- 3) 公益社団法人岐阜県看護協会事業所設置運営規則の一部改正について審議、可決
- 4) 公益社団法人岐阜県看護協会組織規則の一部改正について審議、可決
- 5) 公益社団法人岐阜県看護協会事務決裁規程の一部改正について審議、可決
- 6) 公益社団法人岐阜県看護協会職員給与規程の一部改正について審議、可決
- 7) 公益社団法人岐阜県看護協会臨時職員就業規則の一部改正について審議、可決
- 8) 公益社団法人岐阜県看護協会岐阜県看護協会立訪問看護ステーション高山運営規程の一部改正について審議、可決
- 9) 公益社団法人岐阜県看護協会岐阜県看護協会立ケアプランセンター高山運営規程の一部改正について審議、可決
- 10) 公益社団法人岐阜県看護協会岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山運営規程の一部改正について審議、可決
- 11) 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山（生活介護）運営規程の一部改正について審議、可決
- 12) 児童福祉法に基づく岐阜県看護協会立ナーシングデイ高山（指定児童発達支援・放課後等デイサービス）運営規程の一部改正について審議、可決
- 13) 令和7年度補正予算について審議、可決
- 14) 令和8年度重点方針・重点事業並びに事業計画（案）について審議、可決
- 15) 令和8年度収支予算（案）について審議、可決
- 16) 定時総会の日時及び場所並びに目的である事項等について審議、可決

協議事項

- 1) 令和8年度岐阜県看護協会定時総会（案）について
- 2) 令和8年度岐阜県看護協会長表彰者の選定について（追加）

支部活動報告

支部長会開催状況

	開催日	議 題	使用資料
第1回	7月10日(木)	① 会長挨拶、担当理事・支部長紹介 ② 岐阜県看護協会のあり方と支部活動について ③ 各支部の年間目標・活動計画について ④ 令和7年度支部活動における関係団体との連携について ⑤ 「昭和100年」関連政策について ⑥ 意見交換	・支部活動の手引 ・岐阜県看護協会のあり方～2040年を展望して～ ・令和7年度支部活動の年間計画 ・岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会の役員名簿
第2回	9月16日(火)	① 各支部の活動状況の報告 ② 支部長に対する各種 推薦等の依頼について ③ 令和7年度重点事業に関するお願い ④ 意見交換	・令和7年度支部の活動状況 ・支部長に対する各種推薦等の依頼一覧 ・生涯学習等の説明会への参加資料等
第3回	10月23日(木)	① 各支部の活動状況の報告 ② 岐阜県看護協会 会長表彰候補者の推薦について ③ 次年度の支部活動目標と事業計画(案)の作成について (「活動内容及び執行基準」について) ④ 意見交換	・令和7年度支部の活動状況 ・会長表彰規程 ・支部別の会長表彰候補者参考リスト ・支部活動内容及び執行基準 ・令和8年度 支部の活動目標と事業計画(案)の作成[様式1・様式2の記載方法]
第4回	12月11日(木)	① 各支部の活動状況の報告 ② 次年度の支部活動目標と事業計画(案)について (共催研修について、目標確認、代表者会議の日程調整 等) ③ 意見交換	・令和7年度支部の活動状況 ・令和8年度支部の事業計画書(案)
第5回	令和8年 2月3日(火)	① 各支部の活動状況の報告 ② 次年度の支部活動目標と事業計画(案)について ③ 意見交換	・令和7年度支部の活動状況 ・令和8年度支部の事業計画書・予算書(案)
第6回	3月26日(木)	① 本年度の支部活動まとめ ② 次年度の支部活動目標と事業計画(案)について ③ 「まちの保健室」について ④ 意見交換 ⑤ 支部長に対する各種 推薦等の依頼について	・令和7年度支部の活動状況 ・令和8年度支部の事業計画書・予算書(案) ・まちの保健室について ・支部長に対する各種推薦等の依頼一覧

各支部の活動報告

岐阜 北 支 部	令和7年度 支部目標	研修会を通じ地域の質の向上を図ると共に、働きやすい職場作りについて情報交換できる			
	支部集会	役員会	施設代表者会議	研修会等	イベント
	6月28日（土） 14:00～14:30 ナーシングケア寺 田 研修室 会員 20人〔施設会 員 20人（16施 設）、個人会員 0 人〕	6/28 8/30 11/15 R8.2/7	6月28日（土）14:30～15:30 ナーシングケア寺田 研修室 <u>20人（16施設）</u>	8月30日（土）14:00～15:30 岐阜厚生病院 <u>会員 48人+非会員 4人</u> 研修会：乳がんについて 一臨床と自分自身にも役立つ一 講師：岐阜厚生病院 乳がん看護認定看護師 小池 恵理子 氏	特定行為研修・NP コース修了者の活動 支援：支部交流会＜ 岐阜北＞ 10月8日（木） 「特定行為研修修了 者の現状と課題」 岐阜県看護協会 家庭看護実習室 勉強会 8人 看護の日 ＜岐阜圏域＞ 5月17日（土） マーサ21 マーサスクエア ・AED体験 ・災害看護 ・からだのしくみ パズル ・赤ちゃん人形 だっこ体験 ・認知症看護 ・摂食嚥下障害 看護 ・感染対策 ・ストレス対策 ・まちの保健室 ・進路相談 総来場者数： 506人
			11月15日（土）9:30～ 10:30 岐阜厚生病院 <u>17人（15施設）</u>	令和8年2月7日（土）13:30～15:30 岐阜厚生病院 <u>会員 30人+非会員 0人</u> リフレッシュ研修会：マジック鑑賞&マジック教室 講師：マジシャン 大上 信彦 氏	
			R8年2月7日（土）研修会終了後 岐阜厚生病院 <u>18人（17施設）</u>		
岐阜 南 支 部	令和7年度 支部目標	看護職の連携を深め、地域のニーズに応じた看護活動を推進する			
	支部集会	役員会	施設代表者会議	研修会等	
	6月18日（水） 定時総会後 県看護協会 特別研修室 会員 53人〔施設会 員 53人（20施 設）、個人会員 0 人〕	7/17 9/18 10/16 12/4 R8.2/19	8月7日（木）14:00～15:30 朝日大学病院 <u>23人（20施設）</u>	9月18日（木）14:00～16:00 朝日大学病院 <u>会員 44人+非会員 6人</u> 研修会：人間関係をよくする話し方 ～心理的安全性を作る～ 講師：名古屋市立大学 大学院 看護研究科 准教授 桐山 啓一郎 氏	特定行為研修・NP コース修了者の活動 支援：支部交流会＜ 岐阜南＞ 10月27日（月） ハンズオンセミナー 「PICC／ミッドライ ンカテーテル」 ふれあい会館 301大会議室 勉強会 3人 岐阜市公衆衛生協議 会 第1回： 5月12日（月） 第2回： 12月18日（木）
			11月6日（木）14:00～15:30 朝日大学病院 <u>25人（21施設）</u>	12月4日（木）14:00～16:00 朝日大学病院 <u>会員 38人+非会員 1人</u> 研修会：看護事例検討会 ～患者の思いをつなぐ地域連携～ ＊事例提供者 3人 ①みどり病院 病棟課長 小池理恵 氏 ②小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック 小笠原訪問看護ステーション 副院長・看護部長 木村久美子 氏 ③岐阜市民病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 褥瘡管理者 竹田宏美 氏	岐阜市柳ヶ瀬健康運 動施設ウゴクテすこ やか交流室
				令和8年1月29日（土）14:00～16:00 朝日大学病院 <u>会員 25人+非会員 1人</u> リフレッシュ研修会：コラージュセラピー 講師：メンタルケア専門塾・ミニバラ研究所 所長 水谷 早苗 氏	

西 濃 支 部	令和7年度 支部目標	地域での情報共有ができ、看護について考えることができる			
	支部集会	役員会	施設代表者会議	研修会等	イベント
	7月12日（土） 13:30～14:00 サンワーク大垣 2F 視聴覚研修室 <u>会員 43人（施設会 員 41人（15施 設）、個人会員 2 人）</u>	7/12 9/6 R8.2/7	9月6日（土） 博愛会病院 2階講堂 <u>15人（13施設）</u> 令和8年2月7日（土） サンワーク大垣 <u>17人（14施設）</u>	7月12日（土）14:00～15:30 サンワーク大垣 2F 視聴覚研修室 <u>会員 43人+非会員 2人</u> リフレッシュ研修会：フラワーアレンジメント 講師：木器花香 オーナー 佐竹 里美 氏 10月11日（土）13：30～15：30 大垣市民病院 <u>会員 47人+非会員 2人</u> 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会 西濃ブロックと の共催研修会： 〔西濃ブロックがメイン〕 * 西濃支部は募集を担当 訪問看護ネットワーク研修 「看護理論に基づく多職種連携で実現する包括ケア」 講師：日本訪問看護認定看護師協会 初代 協議会代表理事&現 監事 野崎 加世子 氏 令和8年2月7日（土）13：30～14：30 サンワーク大垣 <u>会員 67人+非会員 2人</u> 研修会：摂食嚥下障害について 講師：大垣市民病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 國枝 俊治 氏	看護の日 ＜西濃圏域＞ 7月26日（土） 大垣イオンモール ・AED体験 ・災害看護 ・からだのしくみ パズル ・まちの保健室 総来場者数： 359人 特定行為研修・NP コース修了者の活動 支援：支部交流会＜ 西濃＞ 10月7日（火） 「特定行為研修修了 者の活動報告」 岐阜県看護協会 訪問看護相談室 勉強会 5人
中 濃 支 部	令和7年度 支部目標	3 地区の施設間の連携を強化する			
	支部集会	役員会	施設代表者会議	研修会等	イベント
	7月5日（土） 13:00～13:30 中濃厚生病院 2 階講義室 <u>会員 65人（施設会 員 60人（17施 設）、個人会員 5 人）</u>	①6/20 ②7/5 ③7/5 ④9/26 ⑤11/21 ⑥R8.2/20	8月8日（金）13:30～14:30 中濃厚生病院 <u>24人（21施設）</u> 10月17日（金）13:30～14:30 中濃厚生病院 <u>16人（14施設）</u> 「病気になる前からのACPを考える」 * 報告者 3人 ① 中部国際医療センター 看護師長 寺下 千陽 氏 ② 中部国際医療センター 看護師長 前島 美佐 氏 ③ 中部国際医療センター 主任看護師 齋田 久美子 氏	令和7年7月5日（土） 13：30～15：30 中濃厚生病院 2 階講義室 <u>会員 65人+非会員 2人</u> リフレッシュ研修会：眠る門には福きたる 講師：東洋羽毛東海販売（株）名古屋営業所 睡眠健康指導士 渡部郁子 氏 令和7年11月15日（土） 13：30～15：30 中濃厚生病院 2 階講義室 <u>会員 64人+非会員 10人</u> 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会 中濃ブロックと の共催研修会： 〔中濃支部がメイン〕 ～地域連携の好事例を振り返る～ * 事例提供者 4人 ① 中濃厚生病院 患者体験センター 看護師長 各務みちる 氏 ② 中濃厚生病院 患者体験センター 退院支援看護師 大野公子 氏 ③ コスモス訪問看護ステーション 所長 高井裕美 氏 ④ わかくさ介護ステーションせき 管理者・ 主任介護支援専門員 恩田峰代 氏	看護の日 ＜中濃圏域＞ 10月18日（土） マーゴ関 ・AED体験 ・災害看護 ・からだのしくみ パズル ・摂食嚥下障害 看護 ・感染対策 ・ストレス対策 ・まちの保健室 総来場者数： 345人 特定行為研修・NP コース修了者の活動 支援：支部交流会＜ 中濃＞ 9月25日（木） 「特定行為における 臨床推論」「特定行 為研修修了者の活動 報告」 中濃厚生病院 勉強会 18人
	＜地区会議（郡上-関-可茂）＞ * 施設看護職代表者会議の開催時に・・・ ①8月8日（金）14:30～15:30 ②10月17日（金）14:30～15:30 ③12月12日（金）14:30～15:30				ヘルスプランぎふ21 中濃圏域推進会議 10月15日（水） 関保健所

東濃支部	令和7年度 支部目標	看護の質の向上に努め、地域連携を強化する			
	支部集会	役員会	施設代表者会議	研修会等	イベント
	7月5日（土） 13:30～14:00 中津川市 中央公民館 <u>会員 39人（施設会 員 39人（16施 設）、個人会員 0 人）</u>	7/5 10/4 R8.2/7	4月25日（金）14:00～15:00 中津川市民病院 <u>22人（20施設）</u> 「特定行為研修修了者の活動」 ＊報告者 1人 ① 市立恵那病院 看護部長 新床 美穂子 氏	7月5日（土）14:30～15:30 中津川市 中央公民館 <u>会員 39人+非会員 1人</u> リフレッシュ研修会：苔玉作り 講師：自然体験塾「栗くり工房」 代表 栗谷本 征二 氏	看護の日 ＜東濃圏域＞ 9月20日（土） イオンモール土岐 総来場者数： 336人 特定行為研修・NP コース修了者の活動 支援：支部交流会＜ 東濃＞
			8月1日（金）14:00～15:00 中津川市民病院 <u>23人（20施設）</u> 「特定行為研修修了者の活動」 ＊報告者 1人 ① 土岐市立総合病院 看護部長 中嶋 一二三 氏	10月4日（土）13:30～15:00 中津川市民病院 本館5階会議室 <u>会員 62人+非会員 19人</u> 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会 東濃ブロックと の共催研修会：（東濃支部がメイン） 「地域包括ケアを支える在宅医療と最期の過ごし方 ～看取りの質を高める連携～」 講師：虹いろ在宅ケアクリニック 院長 鷺津 潤爾 氏	9月27日（土） 「各施設における特 定行為研修修了者の 活動報告」東濃厚生 病院勉強会 23人 東濃圏域地域医療構 想等調整会議 第1回： 8月18日（月） （WEB会議） 第3回： 1月23日（金） （WEB会議）
			12月5日（金）14:00～15:00 中津川市民病院 <u>20人（18施設）</u>	令和8年2月7日（土）13:30～16:00 中津川市民病院 本館5階会議室 <u>会員 67人+非会員 3人</u> 看護研究発表・看護実践報告会	
飛騨支部	令和7年度 支部目標	看護職の絆を深め、地域の看護を共に考える			
	支部集会	役員会	施設代表者会議	研修会等	イベント
	7月12日（土） 13:30～14:00 下呂交流会館 アクティブ 【ハイブリッド開 催】 <u>会員 101人（施設 会員 99人（17施 設）、個人会員 2 人）</u>	6/27 7/12 11/15	R8年2月13日（金）13:30～15:00 オンライン開催 <u>22人（16施設）</u>	7月12日（土）14:00～15:30 下呂交流会館アクティブ 【ハイブリッド開催】 <u>会員 101人+非会員 2人</u> 研修会： 在宅療養者の生活を支える訪問看護師の活動の現状 ～病院との連携に求めること～ 講師：訪問看護ステーション虹 管理者 中川 奈緒美 氏	看護の日 ＜飛騨圏域＞ 7月6日（日） 飛騨市福祉ボラン ティアフェスティバ ル ・認知症看護 ・災害看護 ・まちの保健室 総来場者数： 272人
				11月8日（土） 久美愛厚生病院 <u>会員 37人+非会員 38人</u> 岐阜県訪問看護ステーション連絡協議会 飛騨ブロックと の共催研修会：（飛騨ブロックがメイン） が在宅緩和ケア専門人材育成研修会 ＊事例提供者 4人 ① ひだ在宅クリニック 院長 駒屋憲一 氏 ② 久美愛厚生病院 緩和ケア認定看護師 山本理恵子 氏 ③ （公社）岐阜県看護協会訪問看護ステーション古川 訪問看護認定看護師 山之腰由香 氏 ④ 高山市薬剤師会 スズキ薬局 会長 鈴木敏文 氏	特定行為研修・NP コース修了者の活動 支援：支部交流会＜ 飛騨＞ 10月27日（月） 第1部：「特定看護 師の活動～院内の活 動と他職種と連携し た血糖コントロール 」 第2部：フォロー アップセミナー 「エコーの基本」 久美愛厚生病院 勉強会 16人
				11月15日（土）13:30～15:00 下呂交流会館 <u>会員 71人+不明 3人</u> リフレッシュ研修会：心のケア・リフレッシュ 講師：慈愛会ひだ 代表理事 越山 智子 氏	

職能委員会報告

保健師職能委員会

委員長 松波 実智誉

項 目	活 動 内 容
1. 活動の概要	保健師活動の魅力を高校生、看護学生に発信するためのパンフレットの作成に取り組んだ。また、看護の日のイベントにおいて、「まちの保健室」で生活習慣病予防について呼びかけを行った。 母子保健活動において助産師と保健師の連携強化を図るため、助産師職能委員会との合同委員会を実施した。
2. 委員会の開催	委員会 9回
3. 委員会活動	1) 活動方針 (1) 保健師活動魅力発信パンフレットの作成 (2) 助産師職能委員会との合同委員会の実施 2) 活動内容 (1) 保健師活動魅力発信パンフレットの作成 行政、健診センター、病院（地域連携）、産業、地域包括支援センターで働く保健師活動、メッセージを紹介 (2) 助産師職能委員会との合同委員会の開催 開催日時：令和7年9月8日（月）14：00～14：50 目的：複雑背景の妊婦について、安全安心な妊娠・出産・子育てができるようにそれぞれの職種の特性、視点を知り援助、支援の方法、連携の重要性を理解する。 (3) 保健師職能通信（Pretty Health News）の作成、発行 ・令和7年9月：職能委員の自己紹介、保健師活動の魅力、事例検討会のおすすめ等 ・令和8年3月：四職能合同研修会の報告、保健師活動魅力発信パンフレット、情報提供等 (4) 看護協会だより「看護ぎふ」への原稿提供 ・看護の日「まちの保健室」について等 (5) 看護の日「まちの保健室」5会場参加 ・減塩チェック ・保健師活動のPR 3) 会議出席 ・第1回全国保健師職能委員長会 令和7年8月1日 東京 ・地区別保健師職能委員長会 令和7年10月17日 石川県金沢市 ・第2回全国保健師職能委員長会 令和8年3月6日 東京

助産師職能委員会

委員長 末次 加奈

項 目	活 動 内 容
1. 活動の概要	1) 母子のための安心安全な地域包括ケアシステムの推進を図る 2) アドバンス助産師 CLoCMiP®レベルⅢ認証制度を推進する
2. 委員会の開催	委員会 9回
3. 委員会活動	1) 活動方針 (1) 県内の産科医療機関等における周産期医療・ケア提供体制の実態を把握し、母子のための安心安全な地域包括ケアシステムの推進を図る (2) アドバンス助産師 CLoCMiP®レベルⅢ認証制度を推進する 2) 活動内容 (1) 助産師の役割や実践活動に関する意識調査を行い、助産師がモチベーション高く働き続けるために必要な要素や課題を抽出するための調査内容の検討と実施 令和8年2月 対象施設 15 施設に調査票を発送 (2) 保健師職能委員会と合同委員会 令和7年9月8日 14:00～15:00 内容：事例検討 目的：社会的ハイリスク妊婦について、安全安心な妊娠・出産・育児ができるよう、各職種の特性を活かした具体的な支援方法・連携方法を理解する (3) 機関紙「NEWS さんばーず」第70号発行（2月） 職能委員会活動報告 (4) 研究活動 令和6年度に実施した「産科医療機関の災害対策の現状・活動に関する調査」の結果を分析し、今後の災害への備えについて周知を行った内容をまとめ、令和7年9月第56回日本看護学会学術集会で発表（愛知県） 発表テーマ「A 県の産科医療施設における災害対策の実態」 3) 会議出席 ・第1回全国助産師職能委員長会 令和7年8月1日 東京都 ・第1回地区別助産師委員長会 令和7年10月17日 石川県 ・第2回全国助産師職能委員長会 令和8年3月6日 東京都

看護師職能委員会 I

委員長 大西 浩子

項 目	活 動 内 容		
1. 活動の概要	令和7年度は、令和6年度から検討を開始した「看護師の業務負担軽減にむけたタスク・シフト／シェアの推進」を重点課題とし、看護業務の具体的な実態調査を実施した。調査は委員施設の入院病棟を対象に、先行研究を基に設定した87項目の看護業務について「看護師のみが実施している業務」「他職種と協働している業務」「他職種のみが実施している業務」の3区分で状況を調査し、割合や業務内容の傾向を分析した。分析結果を踏まえ、業務負担軽減及びタスク・シフト／シェアの推進に向けた課題と対策を整理した。また保健師・助産師・看護Ⅰ・看護Ⅱの四職能間の連携強化を図るため、四職能合同研修会を企画／運営し、実施に参画した。		
2. 委員会の開催	委員会 10回		
3. 委員会活動	1)活動方針 看護業務の負担軽減に向けたタスク・シフト／シェアの推進を課題とした看護業務の実態について意見を集約し、課題を抽出する。 2)活動内容 (1)調査の試行と調査用紙の修正と完成 (2)調査の実施 令和7年9月1日～30日 委員施設の看護管理者への協力依頼 委員施設の入院病棟を対象に実施 (3)集計・グラフ作成・分析 単純集計とクロス集計 看護業務の「看護師のみ」「協働」「他職種のみ」の3区分について全体の割合と傾向と看護業務（87項目）内容の割合と傾向 (4)結果のまとめ 実態の結果と課題について文章化 (5)四職能合同研修会への参加・協力 ①日 程：令和7年11月8日（土）13:30～15:30 オンライン研修 ②テーマ：専門・認定看護師の役割と地域との連携について考える (6)全国看護師職能委員会1病院領域委員長会での意見交換・検討 ①看護管理者の役割発揮 ②ハラスメントの現状と課題 ③看護補助者との連携・協働で生じる医療安全上の課題 ④看護記録の業務負担 3)会議の出席等 第1回全国看護師職能委員長会 令和7年8月2日 東京開催 東海北陸地区別職能委員長会 令和7年10月17日 石川開催 第2回全国看護師職能委員長会 令和8年3月6日 東京開催		

看護師職能委員会Ⅱ

委員長 福井 郁子

項 目	活 動 内 容
1. 活動概要	高齢者施設・在宅領域等において提供される看護の質の向上を図り、医療機関などと連携し、切れ目のない安全・安心なケアを提供できるように支援する
2. 委員会の開催	委員会 11 回
3. 委員会活動	1) 活動方針 (1) 高齢者施設・在宅領域等における看護業務の安全と質の向上 (2) 看護協会における職能Ⅱ領域の活動の紹介 (3) 災害時に活用できる BCP の推進 (4) 岐阜県の看護の質向上に向けて、専門的知識を持っている看護師（専門・認定看護師）の理解と地域との連携を深める 2) 活動内容 (1) 「高齢者施設で働く看護師研修計画」「高齢者施設で働く新任看護師教育計画と評価表」の存在周知のための広報活動の検討 (2) 職能Ⅱ領域の看護師に向けて、職能Ⅱ委員会の活動紹介及び学習機会などを発信するリーフレットを作成 (3) 災害 BCP 推進研修の実施 テーマ：災害時に活用できる BCP 推進 内容 講演 ①「災害時フレイルを予防しよう」理学療法士による運動指導 岐阜県看護協会立訪問看護ステーション高山 講師 織橋卓也 ②訪問看護利用者災害時の情報連携のための準備 大垣中央病院訪問看護ステーション 所長 野村美鈴 医療法人和光会訪問看護ステーション和光 長良 所長 福井郁子 グループワーク 開催日時：令和 7 年 9 月 13 日（土） 参加人数：19 名 (3) 地域包括ケアの推進に向けて、専門・認定看護師の役割や活動を理解し、それぞれの専門職の地域での活動について考える機会とする テーマ：専門・認定看護師の役割と地域との連携について考える 内容：専門看護師：精神認定看護師：糖尿病看護、訪問看護、

	皮膚・排泄ケア、 摂食・嚥下障害看護領域について 講師 精神看護専門看護師 木野徳磨氏 糖尿病看護認定看護師 三好 徹氏 訪問看護認定看護師 山田剛司氏 皮膚・排泄ケア認定看護師 桃瀬尚子氏 摂食・嚥下障害看護認定看護師 伊丹和美氏 グループワーク 開催日時：令和 7 年 11 月 8 日（土） 参加者：45 名 （４）全国・地区別職能集会における岐阜県情報提供と委員への情報発信 （５）四職能委員長会の開催 3）会議出席等 第 1 回全国職能委員長会 令和 7 年 8 月 1 日 東京都 地区別職能委員長会 令和 7 年 10 月 17 日 石川県 第 2 回全国職能委員長会 令和 8 年 3 月 6 日 東京都
--	---

委員会報告

看護政策委員会

委員長 木野 徳磨

項 目	活 動 内 容
1. 活動の概要	東濃圏域で働く看護師の現状を把握し、地域偏在対策の示唆を得るために「東濃圏域で勤務する看護師の就労意思に関する調査」を実施した。
2. 委員会の開催	委員会 9回
3. 委員会活動	1) 活動方針 R6年度のプレテストを踏まえてアンケート項目を修正し、本調査を実施する。その調査結果をまとめて報告書を作成し、会長に提言する。 2) 活動内容 (1) 調査の実施 前年度のプレテストを踏まえて質問紙を修正し、「退職予定の有無」や「その理由」を尋ねる調査を実施した。 ・調査期間：令和7年8月6日～8月17日 ・配布施設：14施設 回答者数：827人 (2) 分析と考察 クロス集計により分析した結果、病床数別には大きな差は認められず、全年代で「自宅から近い」が就労を継続する理由の上位であった。また、経験年数によって退職意向の背景に差がみられ、若手層と中堅・ベテラン層では支援の視点が異なる可能性が示唆された。 (3) 提言に向けた整理 協会役員との協議を経て、就労の継続には管理職と現場看護師の情報共有・対話機会の充実や柔軟な勤務形態の提示、組織風土の改善および相談体制の整備、ベテラン看護師の役割と評価の可視化が重要であると整理した。 調査結果を報告書として取りまとめ、岐阜県看護協会長に報告した。

教育委員会

委員長 山元 美穂

項 目	活 動 内 容
1. 活動の概要	1. 令和7年度の研修評価および今後の研修プログラムの提案 2. 生涯学習支援に関する現状調査
2. 委員会の開催	委員会 10回
3. 委員会活動	1) 活動方針 (1) 医療現場や看護界の教育関連のニーズを共有し、次年度の教育計画に反映させる (2) 生涯学習支援の意義を理解し、看護職に関連する組織・機関への周知ができる。 2) 活動内容 (1)-1 ワークライフバランスや、地域性を考慮し、自己のタイミングで受講できるオンデマンド研修を開催し、参加しやすかったとの評価を受けた。研修によっては、ディスカッションやグループワークによる意見交換により、「他施設の実践や多様な視点に触れることができ自身の看護実践を振り返る機会となった」などと、対面研修の意義を感じる意見もあった。各施設にてe-ラーニングが普及しているため、今後は協会として開催すべき研修内容を検討していく。 (1)-2 昨年度に引き続き、委員メンバーで教育委員企画の研修に評価者として参加し、研修後アンケートの結果を踏まえて評価を行った。今年度は、看護協会の基本理念に基づき、研修評価表を見直した。委員会で研修内容や3年後にも必要な研修かなどディスカッションを行った。今後は、「岐阜県看護協会のあり方～2040年を展望して～」を念頭に、受講者のニーズや施設背景など考慮し、個のニーズに合った研修を企画・提案していく。 (2) 生涯学習支援体制の構築について、昨年度、病院や訪問看護ステーション、高齢者施設を対象に調査を行った。調査では、①生涯学習支援実施状況②教育体制の施設間差が分かった。結果は取りまとめ、岐阜県看護協会ホームページを通して報告した。現状調査を参考にし、次年度以降の研修企画に繋げていく。

広報出版委員会

委員長 児玉 憲子

項 目	活 動 内 容
1. 活動の概要	看護協会を身近に感じていただけるよう看護協会の活動を紹介し、また保健師、助産師、看護師、准看護師の会員に一体感が育まれるよう広報誌「看護ぎふ」を発刊した。 県民の方々に看護の仕事を深く知っていただけるようホームページやSNSの内容を検討し、興味を持ってもらうことで就労希望者が増えることを目的とした。
2. 委員会の開催	委員会 10回
3. 委員会活動	1) 活動方針 会員の皆様一人ひとりを繋ぐ広報誌として、看護協会の活動や旬な情報を提供するよう努める。 (1) 看護協会の活動を紹介し、看護協会を身近に感じていただけるよう内容を検討した。 (2) 各施設で活躍されている特定行為研修修了者の活動や、看護への思い、今後の課題を紹介することで、看護の質を考える機会となるよう検討した。 (3) 会員各位から掲載記事を投稿していただくことで、協会の一体感が育まれるよう検討した。 2) 活動内容 (1) 看護協会だより「看護ぎふ」年4回発刊 令和7年度定時総会特集号（5月） 第111号（8月） 第112号（10月） 第113号（1月） (2) 内容の見直し・新企画の検討 ①読者アンケートの募集の継続 ②広報誌のレイアウト変更・新コーナー設立を検討 (3) 原稿依頼先リストの整理・更新 (4) 看護協会ホームページ・SNSの発信方法を検討 ①Instagramの二次元コードを配布 ②看護協会の活動をタイムリーに紹介するための内容の検討

医療・看護安全委員会

委員長 岩田 由美子

項 目	活 動 内 容
1. 委員会の概要	医療機関及び介護老人施設における更なる医療安全の確保を推進するための看護師のネットワークの構築
2. 委員会の開催	委員会 6回
3. 委員会活動	1) 活動目的 ・医療機関及び介護老人施設における更なる医療安全の確保を推進するための看護師のネットワークの構築を図る。 2) 活動内容 (1) 令和7年6月～11月 委員会 ・医療安全に関わる看護職員を対象に研修会を企画・検討した。医療事故調査制度発足から10年を迎えるにあたり、医療事故および事故発生時の対応について、改めて学ぶ機会とすることを目的とした。 ・事前アンケートでは、医療事故報告の経験の有無や、困った点・知りたいことを尋ねた。その結果、専従者であっても制度利用の経験は少なく、初動対応や判断、全体の流れに不安を感じている意見が多くみられた。これらを踏まえ、研修内容は実務に焦点を当て、医療事故調査制度を改めて確認する内容とした。 (2) 令和7年10月31日（金）13：00～16：00 テーマ「安心安全な医療のために～最近の話題と実際の対応」 参加者：50名 講師：岐阜大学医学部付属病院 医療安全管理室長 教授 熊田 恵介 先生 内容：日本医師会発行『院内調査の進め方』に沿って初動対応を確認した。あわせて、重大事例の定義や取扱い、実際の事例を用いた対応について検討した。ワークを取り入れ、グループ内で活発な意見交換が行われた。 (3) 研修会のアンケート集計 ・概ね良好な評価が得られた。一方で、交流の時間をもう少し確保したかったとの意見もあったが、限られた時間の中でも連絡先の交換や各自の活動を共有できたとの声が聞かれた。 (4) 次年度の計画検討 ・医療機関や介護保健施設等の領域を問わず、県内の看護職が医療安全を身近な課題として共有できる研修の在り方を検討した。

災害看護委員会

委員長 小濱 美保

項 目	活 動 内 容
1. 活動の概要	大規模災害・新興感染症蔓延に対し平時における災害派遣時の体制整備 災害看護に必要な知識・技術の維持向上 看護職へ向けた災害支援ナースの普及
2. 委員会の開催	委員会 12 回
3. 委員会活動	1) 活動方針 災害・新興感染症蔓延時に看護活動を提供するために、平時より研修や交流会などを通して協会会員および災害支援ナースへの支援を行うとともに、県民に対して災害時における健康管理や平時の備えについて啓発するなど、災害対策に必要な支援に取り組む 2) 活動内容 (1) 災害看護の啓発活動を行い、災害支援ナースの確保・養成を行う 昨年引き続き、災害看護について学ぶ機会が少なかった全ての看護職を対象に、災害支援ナース派遣体制の周知や受援体制に関連した研修会を開催した。53名の参加者があった。研修アンケート結果より、「災害看護への関心度が高まった」「自施設に受援マニュアルが無いため必要性が理解できた」「災害が起きてからでは遅いことに気づけた」などの回答があった。午後からはグループワークを行い、「他施設の災害対策が参考になった」「自施設に不足している部分や弱点を知ることができた」「具体的なケアリストを作れて良かった」などの回答があった。 (2) 災害支援ナースの活動に関するメンタルサポートについて検討し、必要に応じて研修等を実施する 実際に被災地で活動した災害支援ナースの体験談、避難所に派遣された際の感染対策の基礎知識、発災から派遣までの流れに関する机上訓練を行った。22名の参加者があった。研修アンケート結果では、「活動の実際がわかって支援の様子がイメージできた」「避難所で物資が少ない中での感染対策がわかった」「机上訓練のグループワークを通して他施設の災害支援ナースと交流できたのがよかった」との回答を得た。

(3) 県民に対して災害への備えや災害時における健康管理・感染対策について普及・啓発を行う

看護の日に災害時に活躍する看護職のブースを出展した。令和6年能登半島地震で派遣された災害支援ナースなどの被災地での活動記録・写真の展示、災害時簡易トイレの凝固剤使用体験、災害支援ナースのビブス等の災害支援時のユニホーム・支援バッグの展示をした。また、災害時の健康管理・感染予防に関するポスターを作成展示し、県民への災害看護の啓発を行った。

また、圏域内の災害支援ナースにも参加協力を要請し、委員とともにイベント活動に参加し、地域で顔の見える関係作りにつなげた。

	開催日	担当者	圏域	開催場所
1	7/6	古川・牛丸	飛騨	飛騨市古川町公民館
2	7/26	中島	西濃	イオンモール大垣
3	9/20	福当	東濃	イオンモール土岐
4	10/18	小濱	中濃	マーゴ関

(4) 令和8年3月現在の災害支援ナース登録者数

令和7年研修修了者 132名 合計：364名